



藤見泰高

蛾の擬態がとても面白いです。特に 羽根に蛇や梟の模様が出ている種類 は「まるで芸術のようだっ!」と感心して しまいます。街中にもいますので探して みるのも楽しいですよ。



廣瀬周

そろそろ仕事をフルデジタルにするべきかなぁ…とか考えていたところ、知人からPCが壊れて大変という話を聞きました。……自分はもうしばらく紙と併用で頑張ろうと思います。









第31話

79



第32話



マンガクロス2022年2月~6月掲載 https://mangacross.jp

> ※この作品はフィクションです。 実在の個人・団体・事件等には一切関係ありません。



までのお話

修学旅行中に旅客機が墜落し、孤島に漂着した織部睦美。だが島は巨 大昆虫によって支配されていた。睦美は仲間たちと共に辰野大島への 避難に成功するが、この島でも巨蟲が発生しつつあった……!?





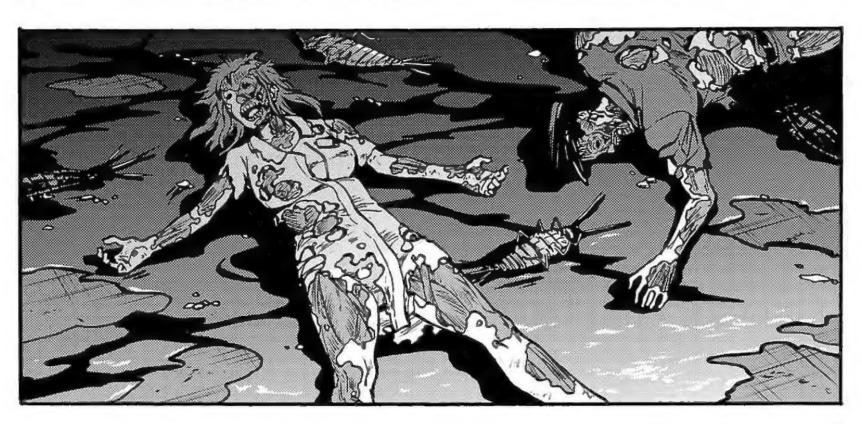




















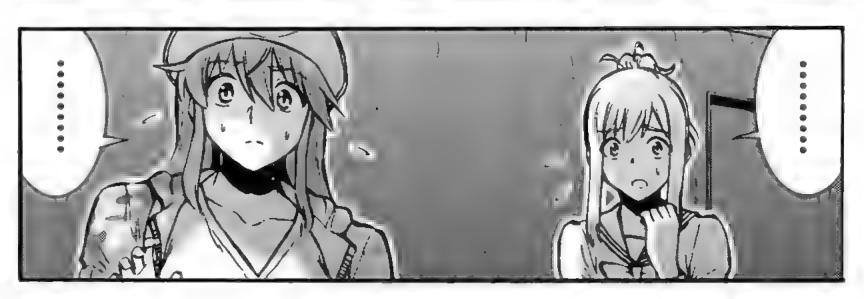




















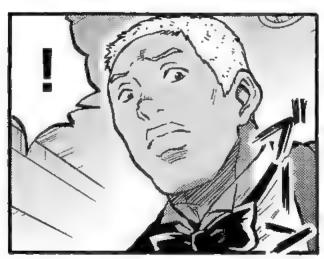


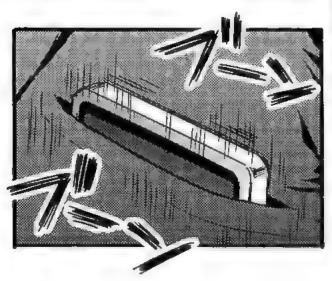
































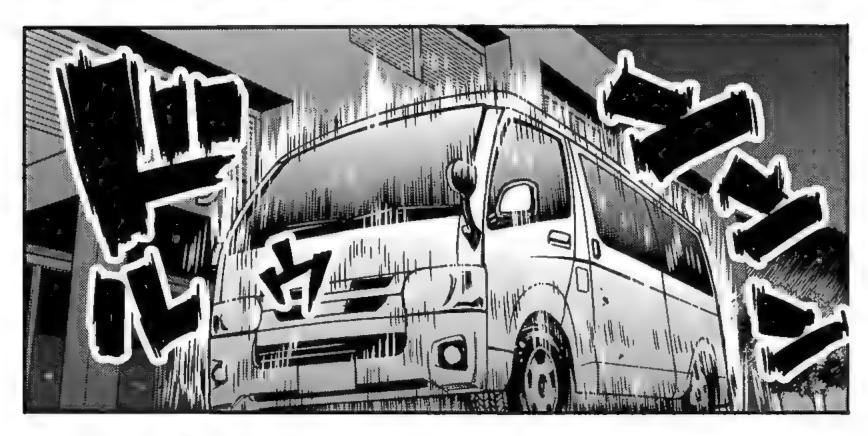




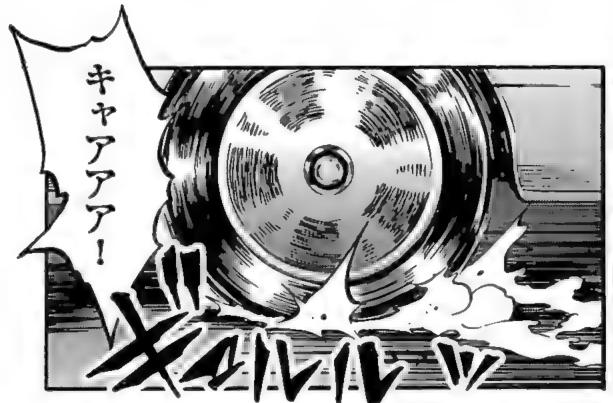




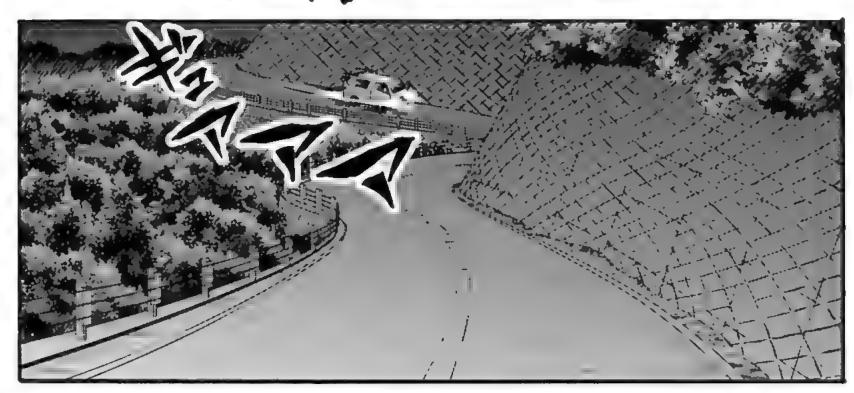


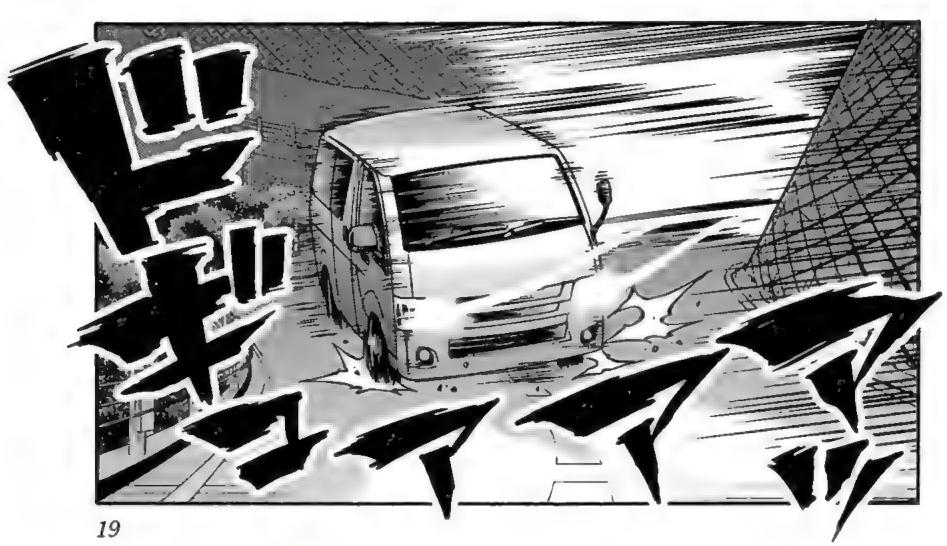






















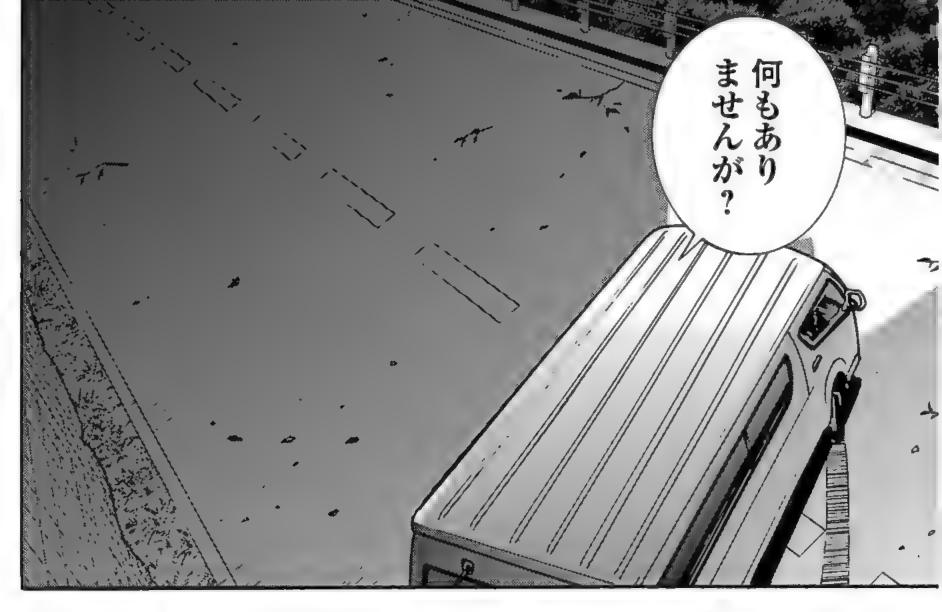
DL-Eleville





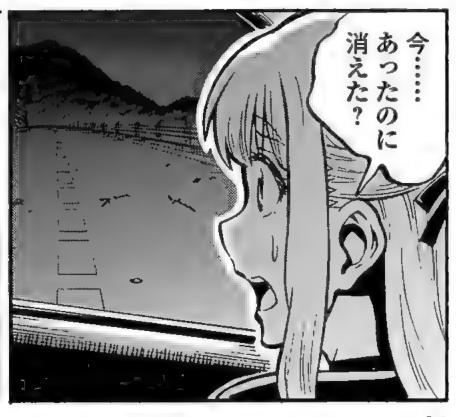










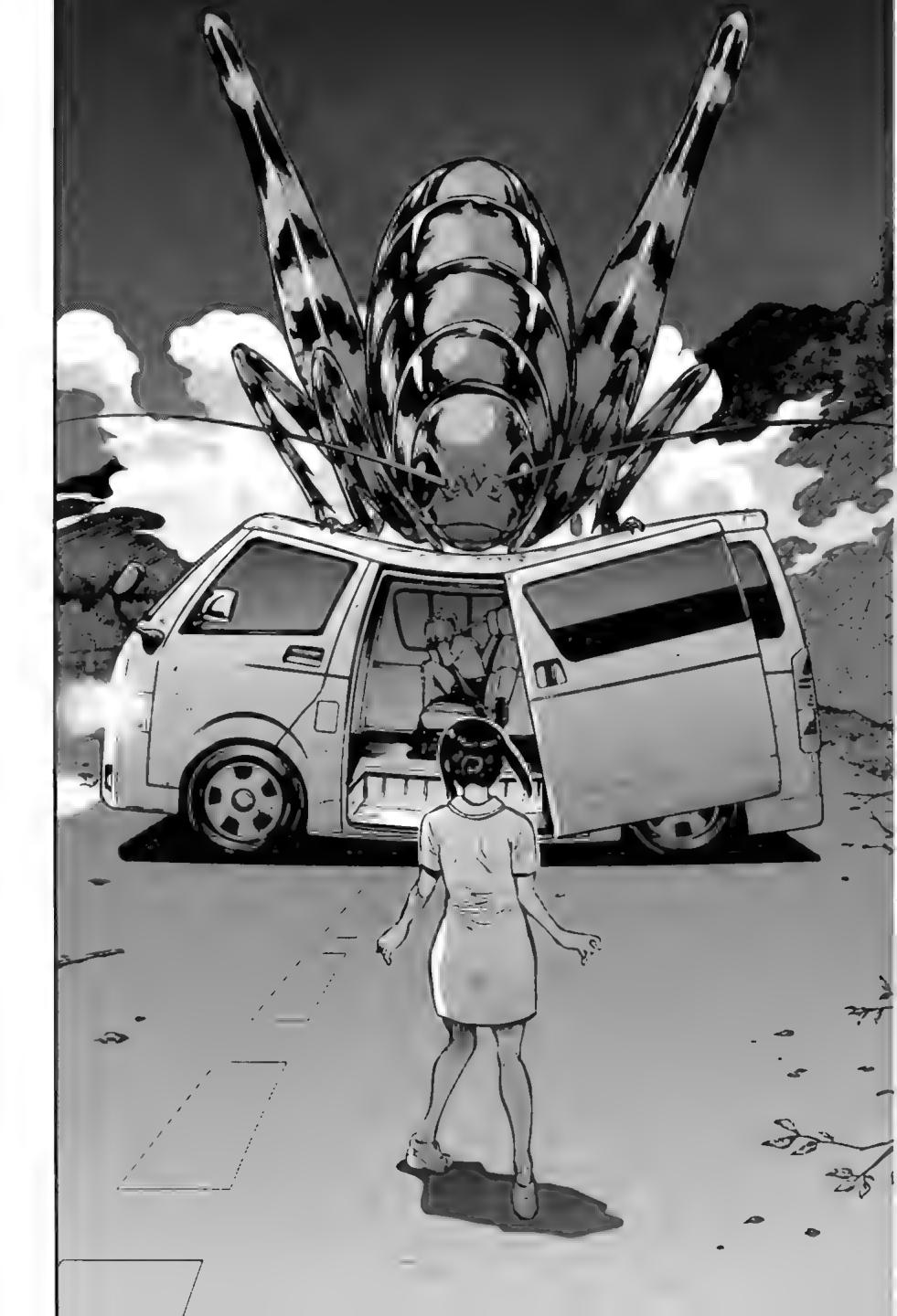


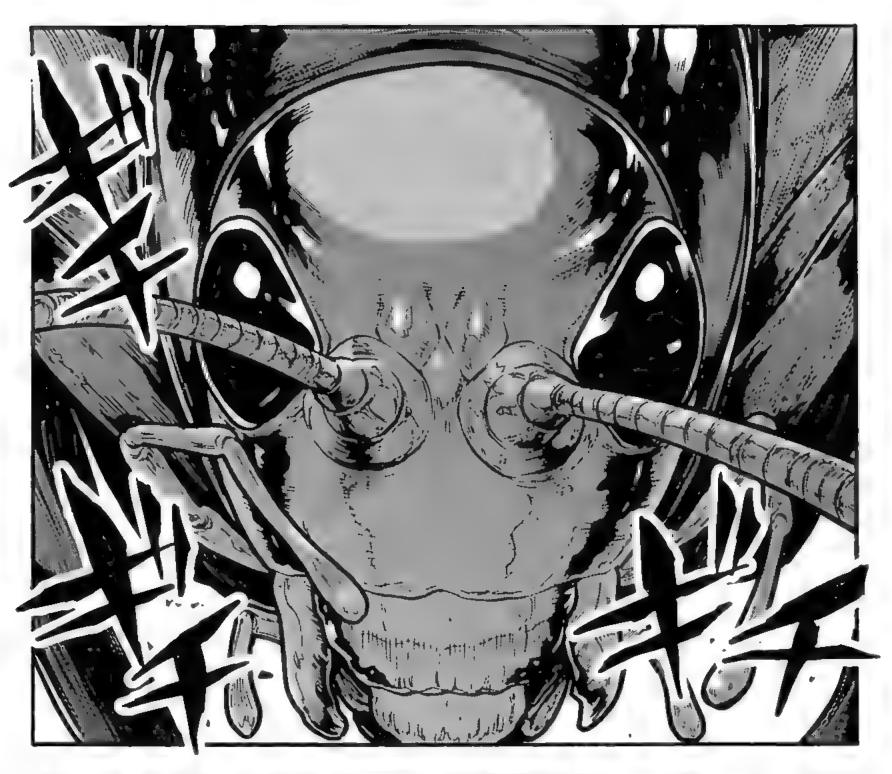






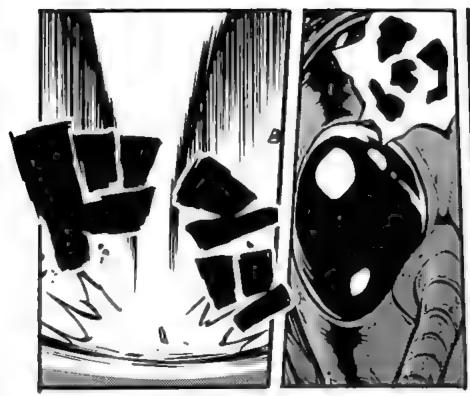






















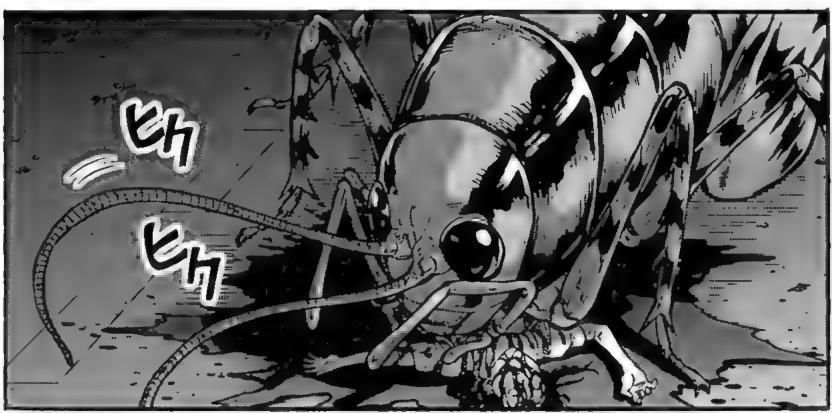




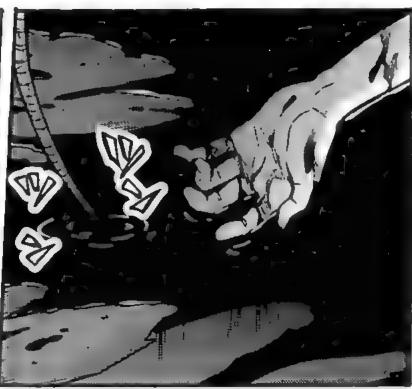




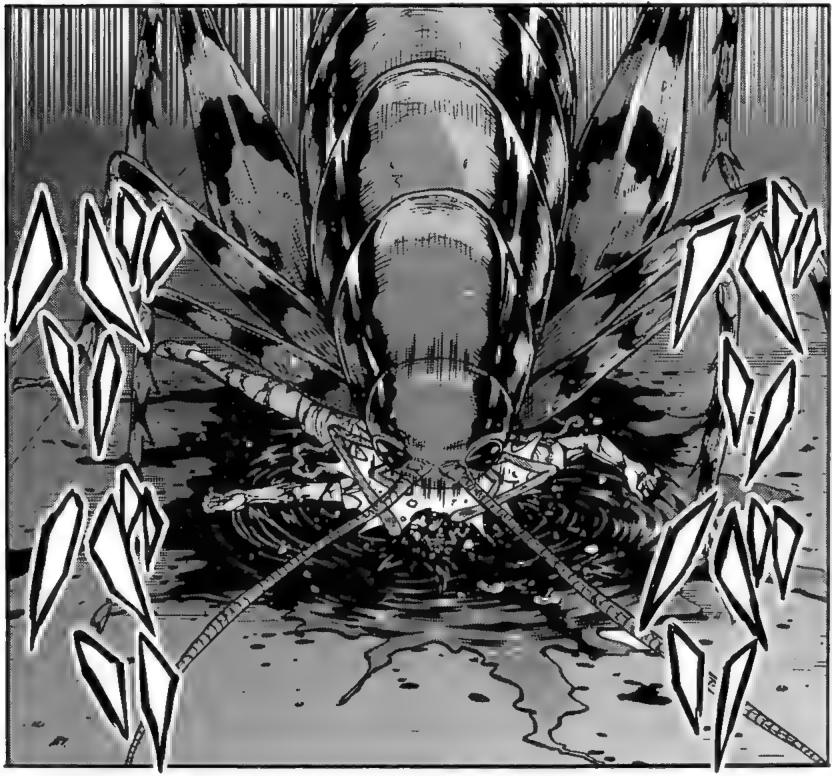










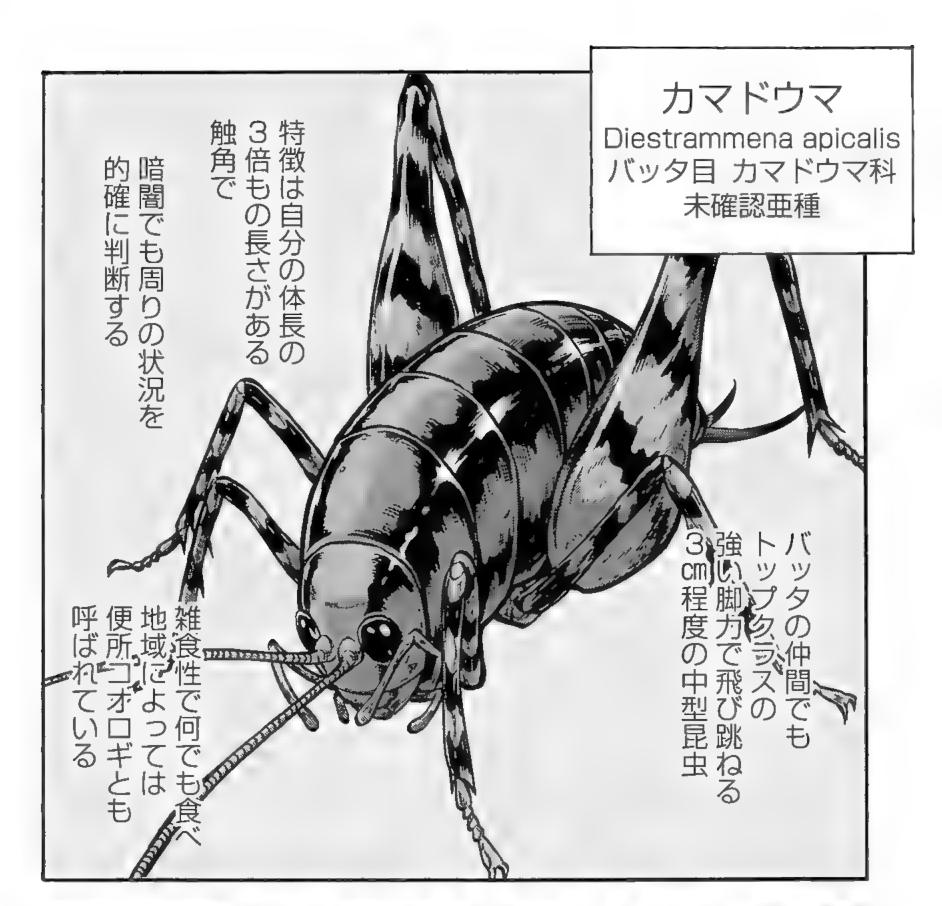








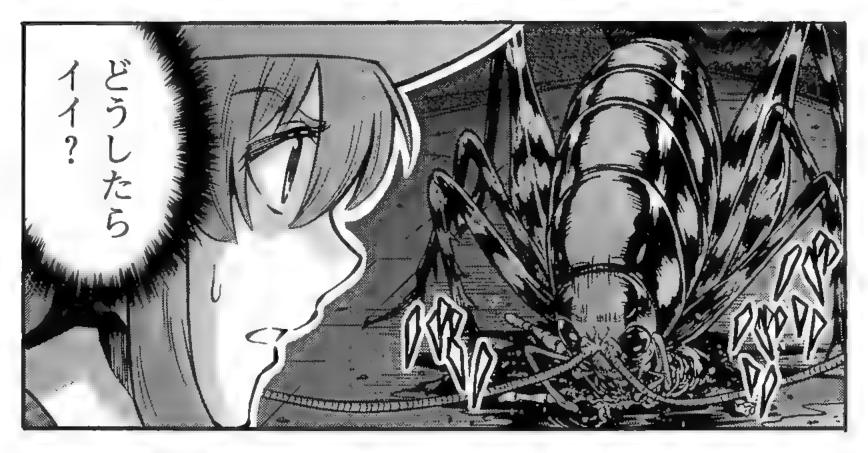








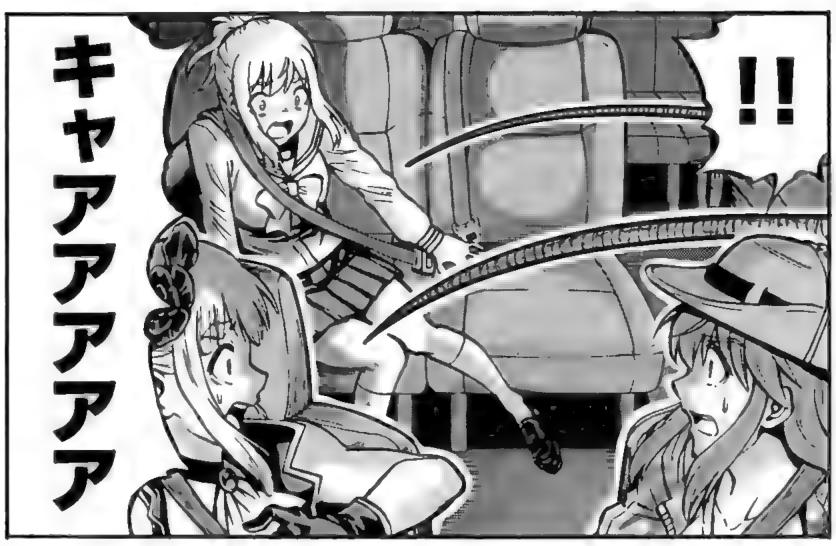










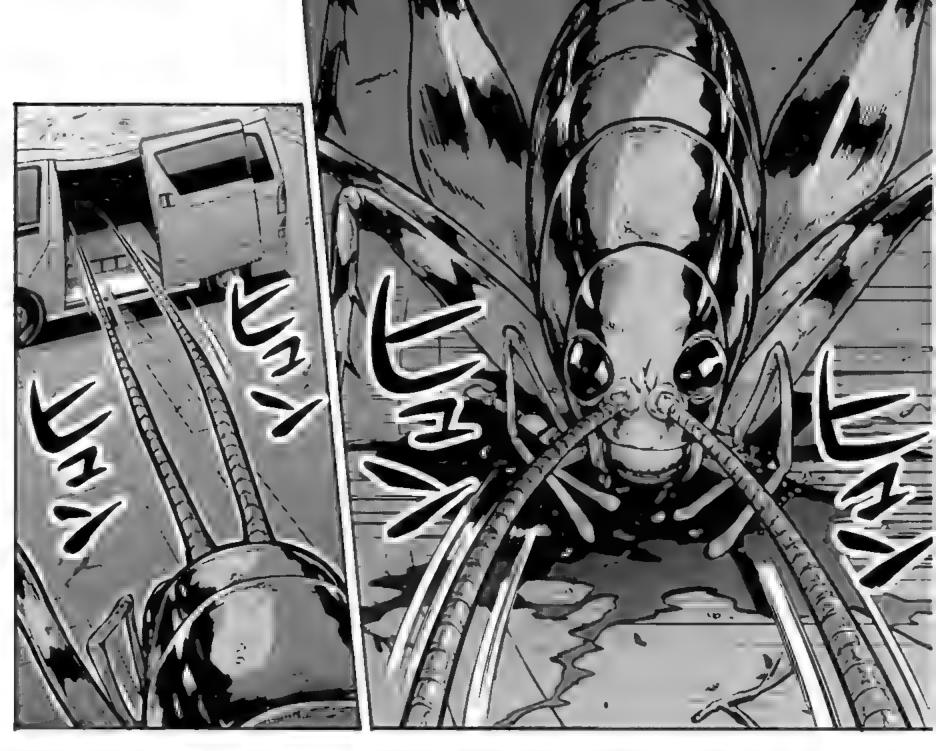




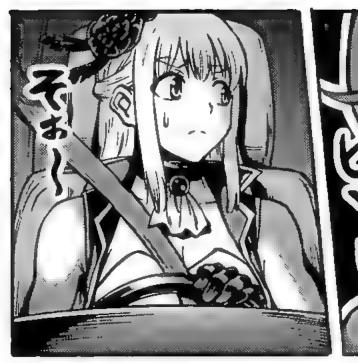




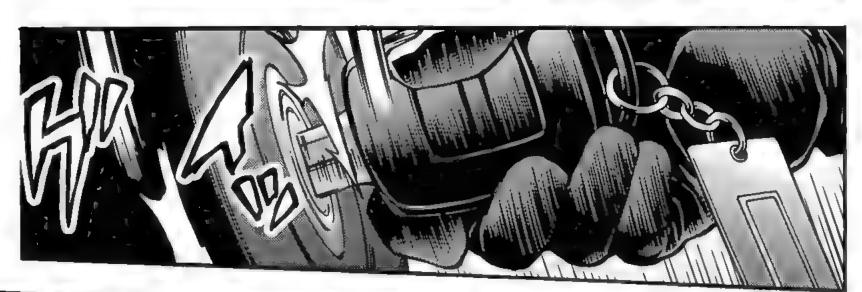






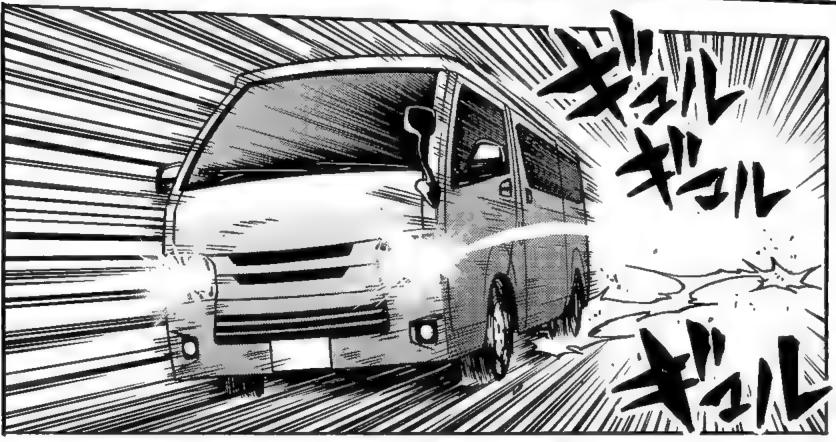


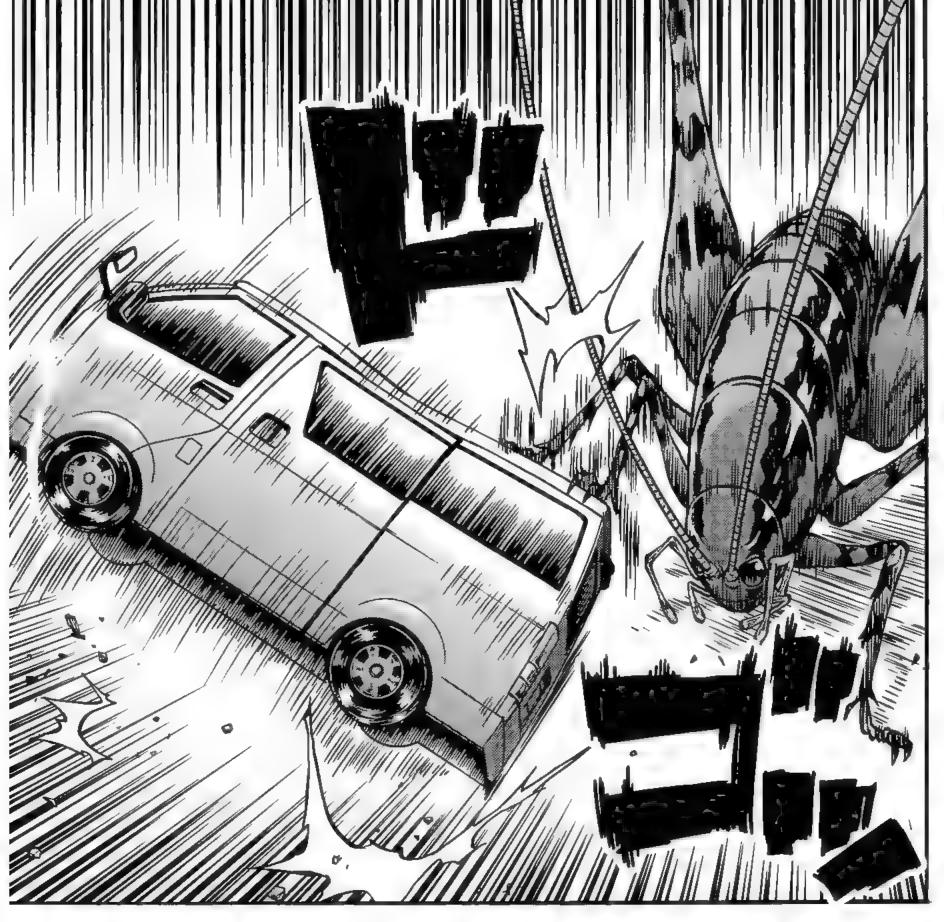




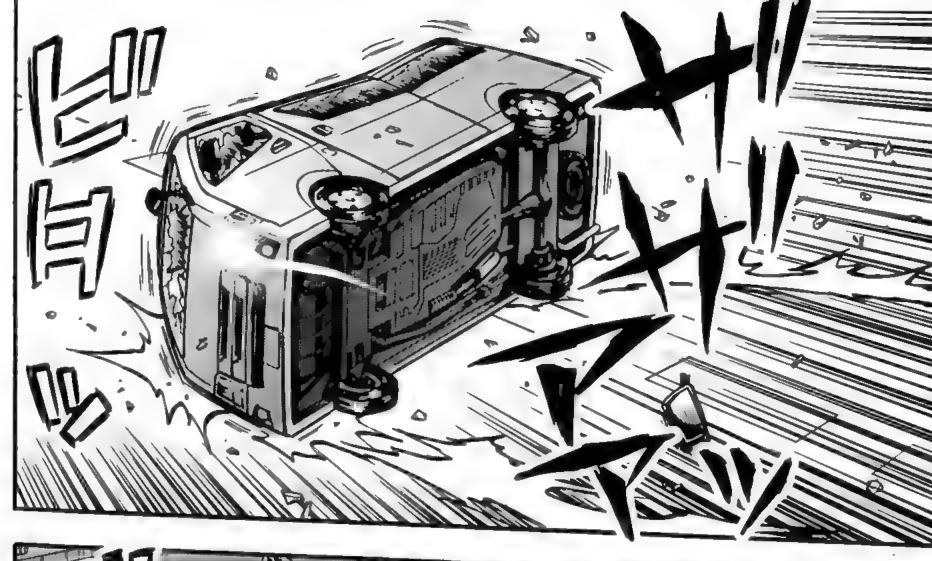


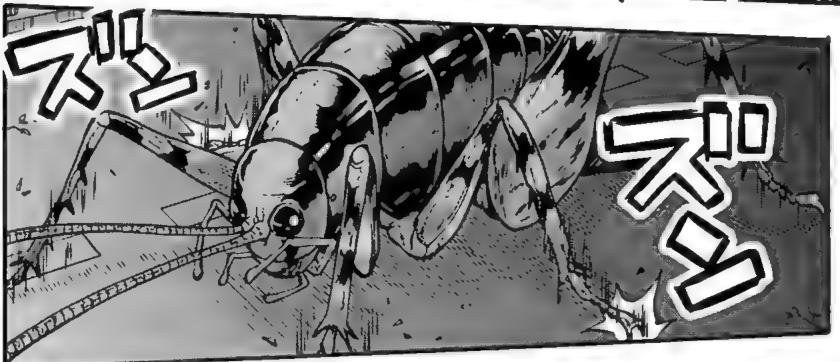


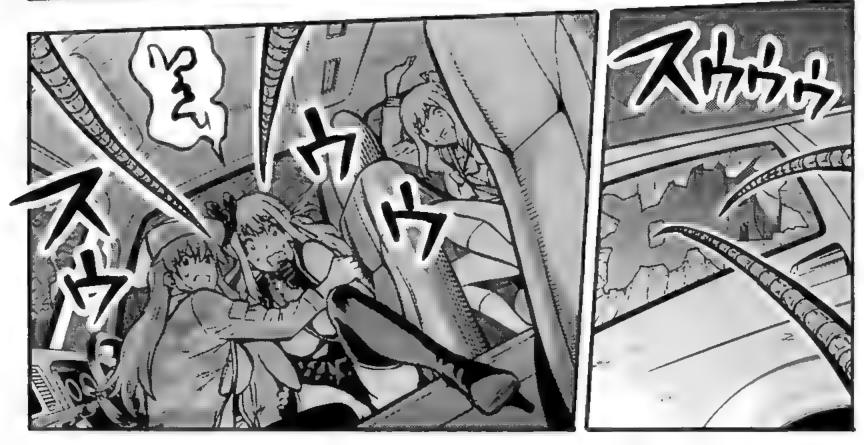






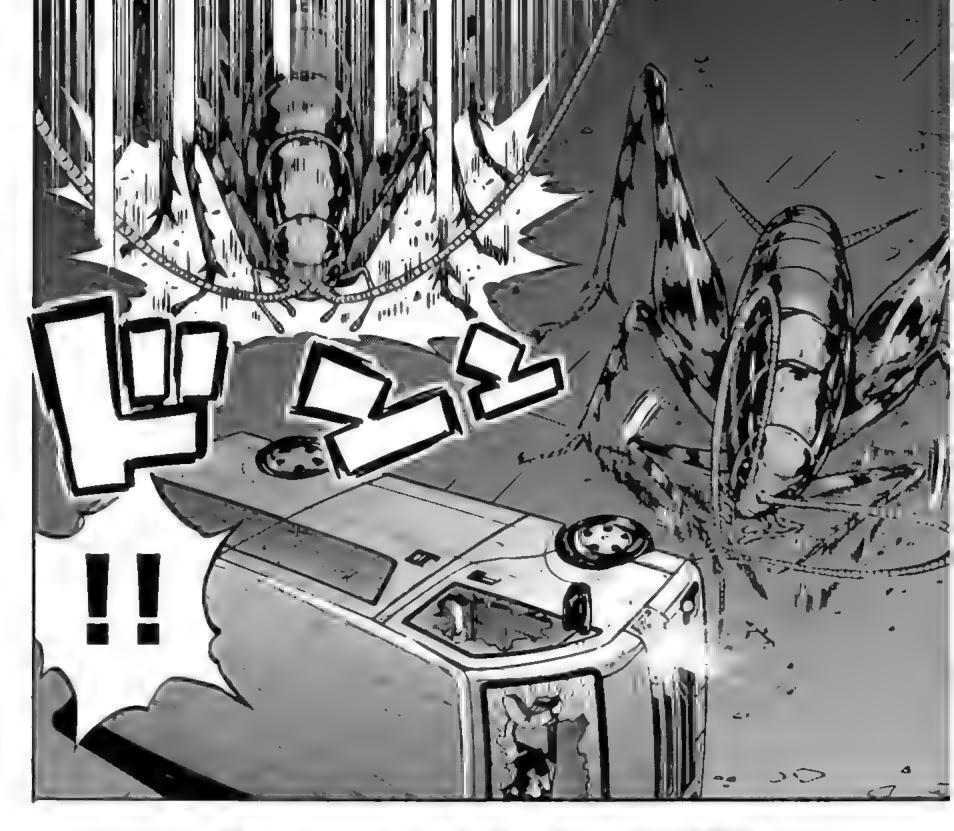








































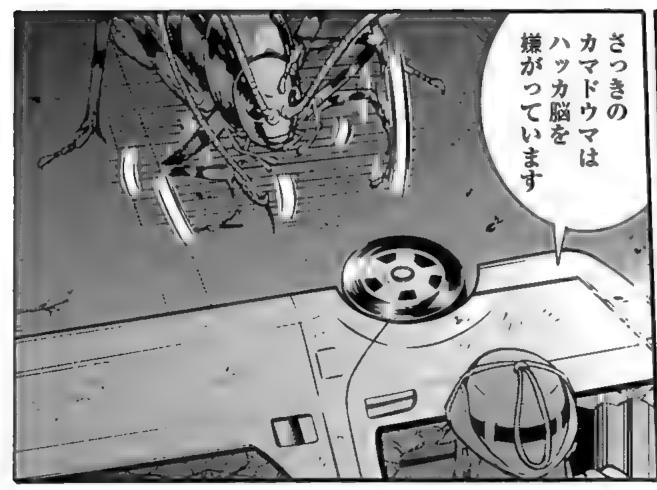
















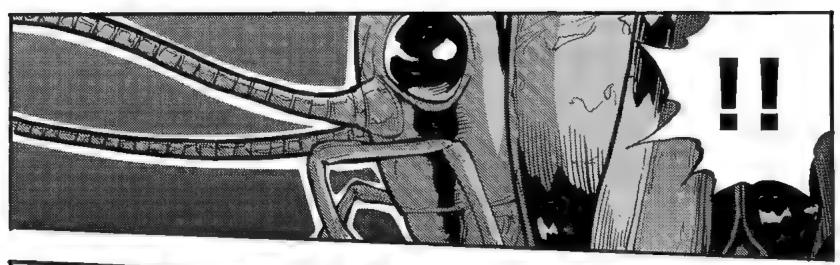


















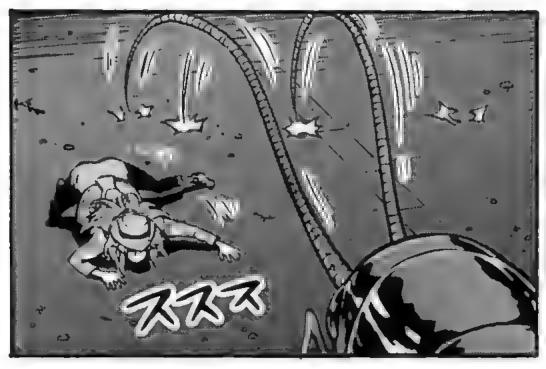






















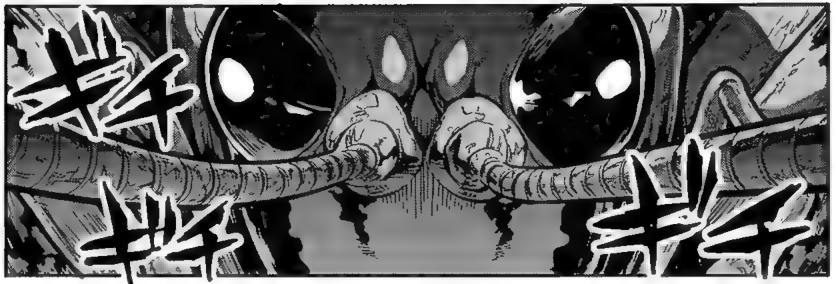








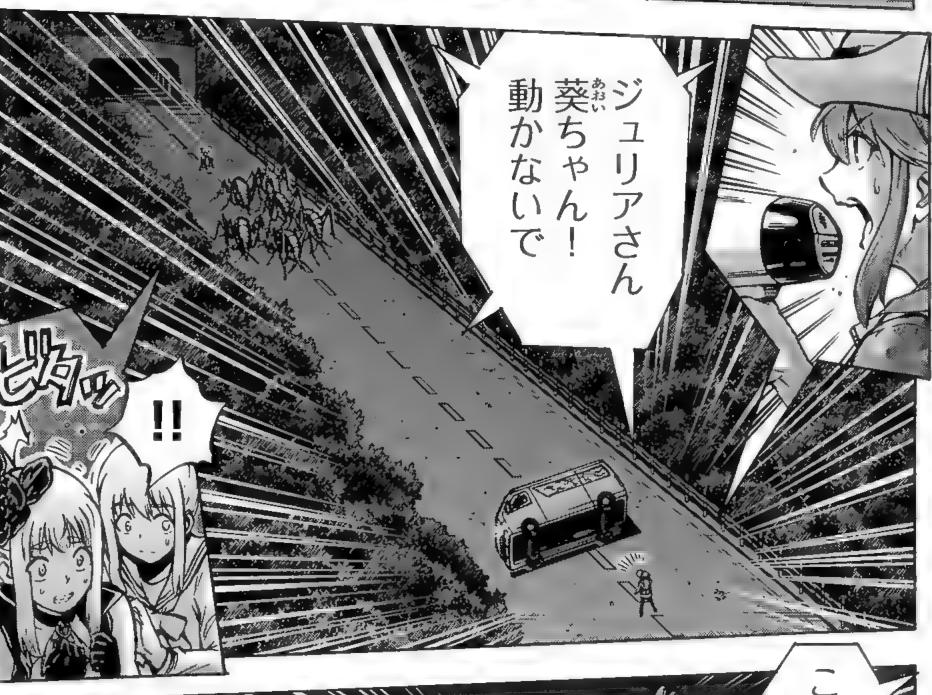




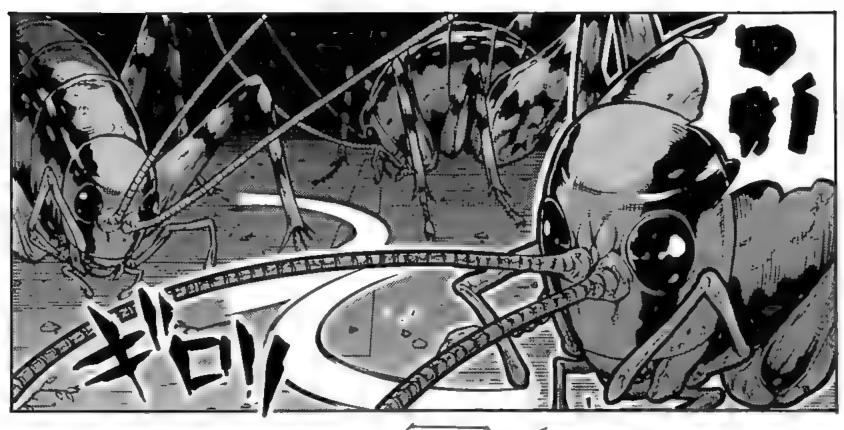






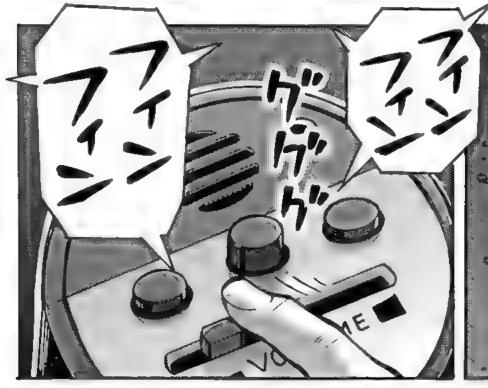


いらっしゃい







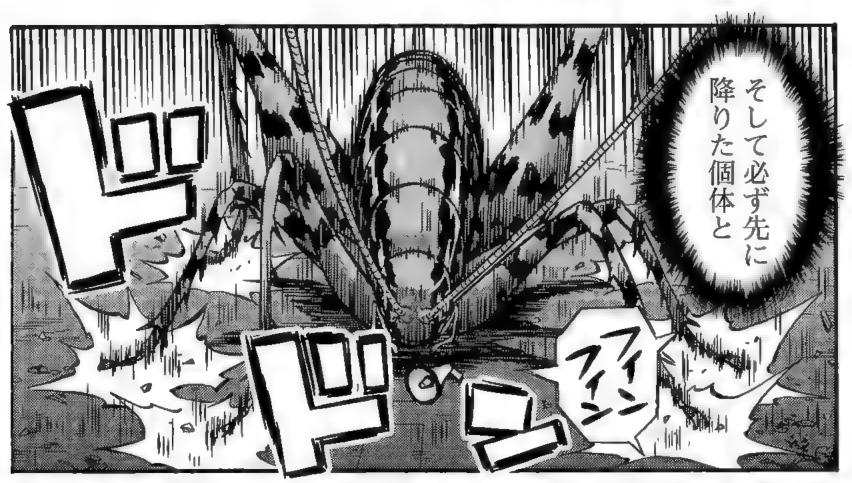














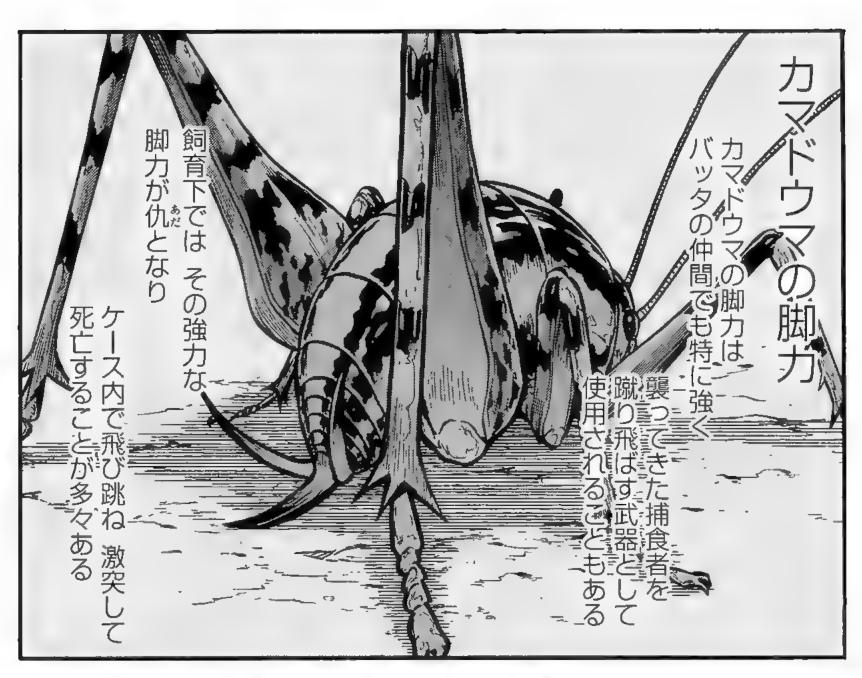




脚だけで 着地のクを ならない







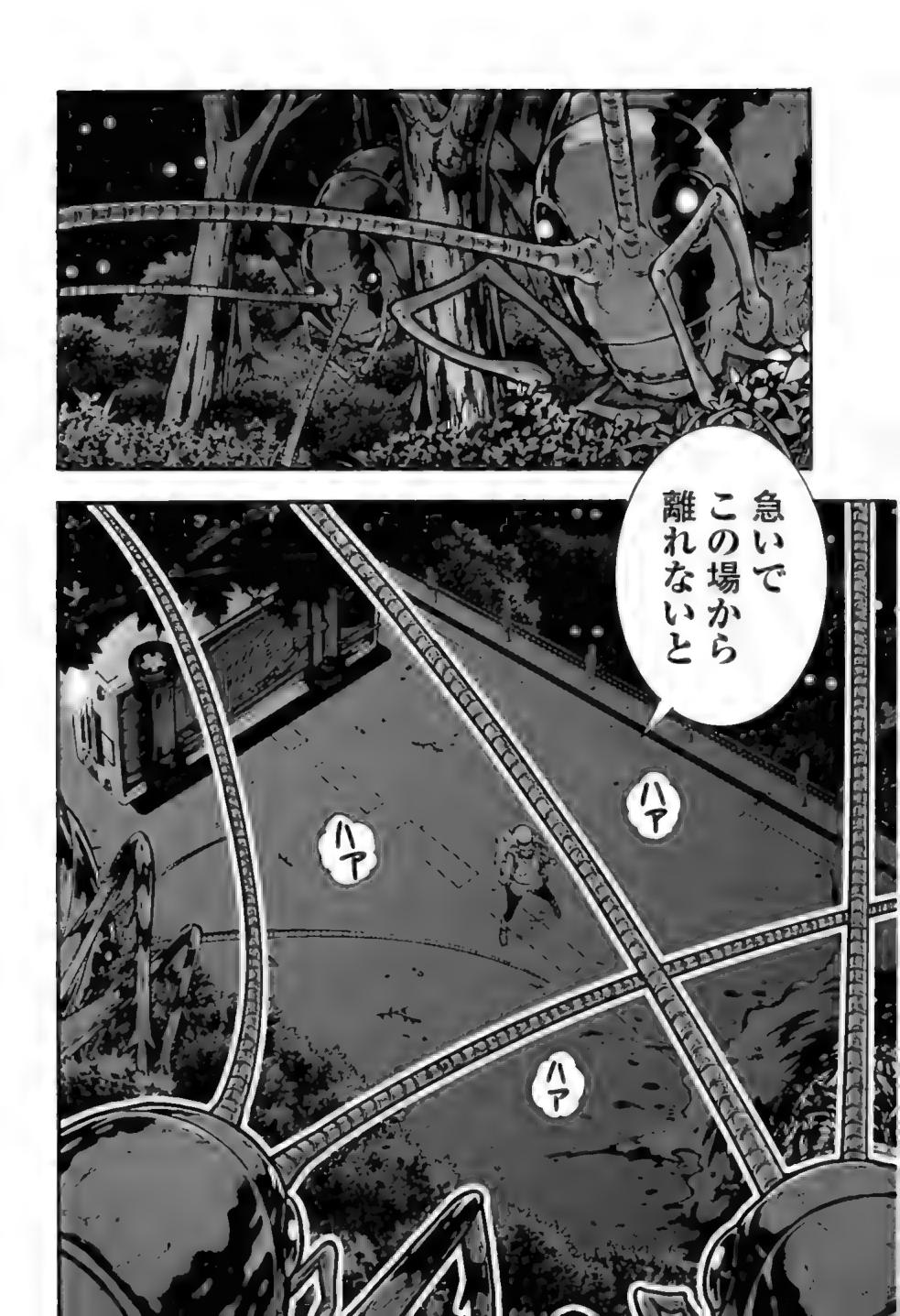














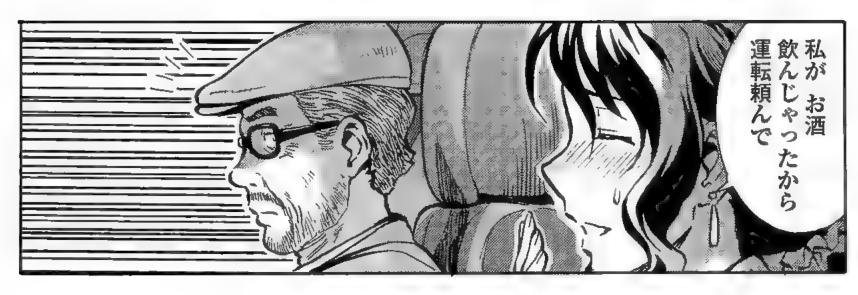
































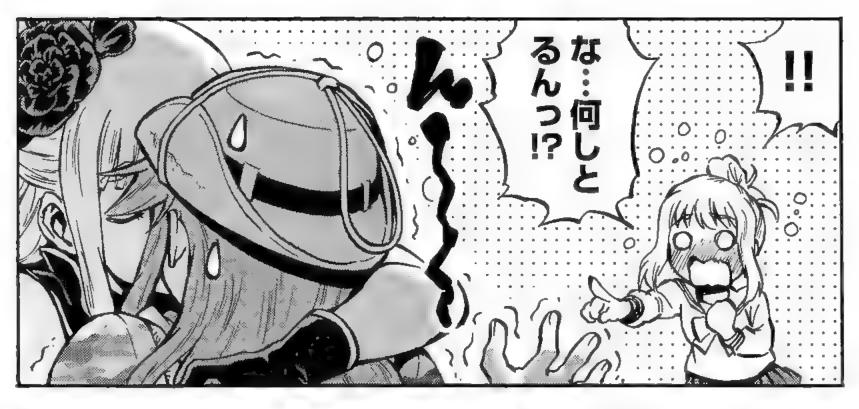


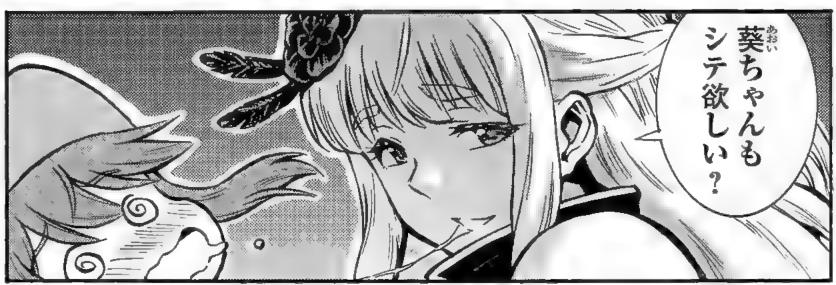










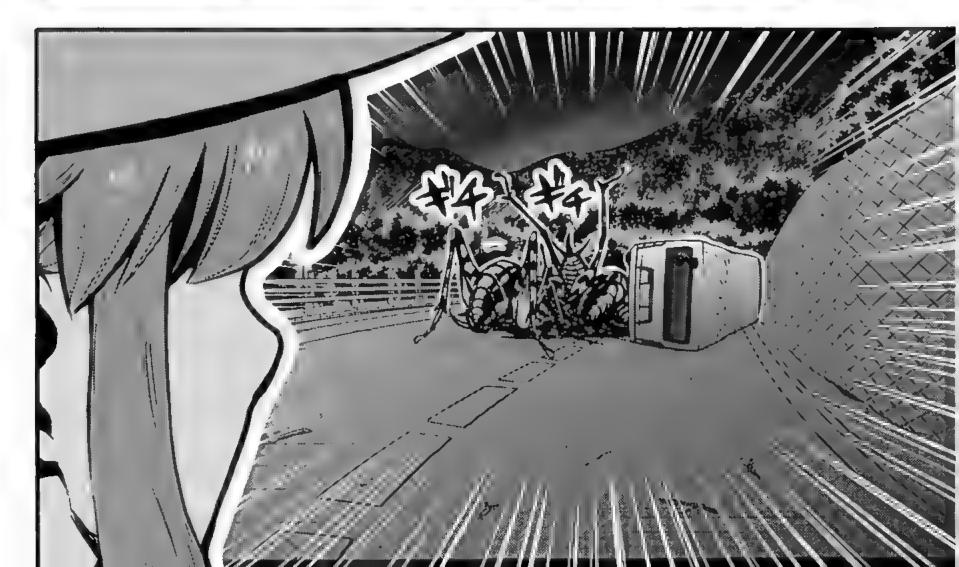










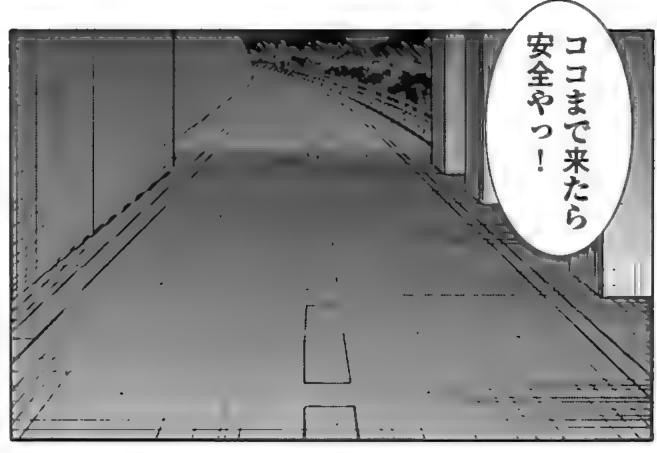


















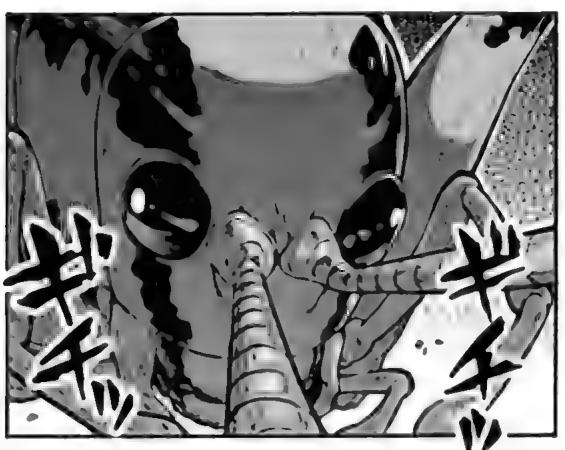




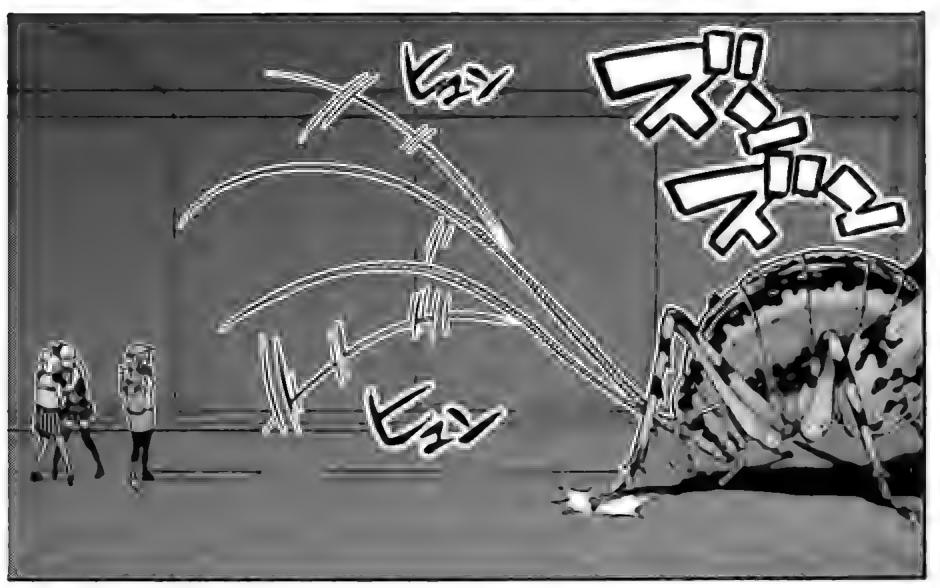




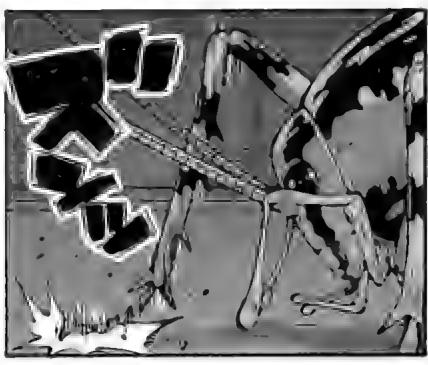




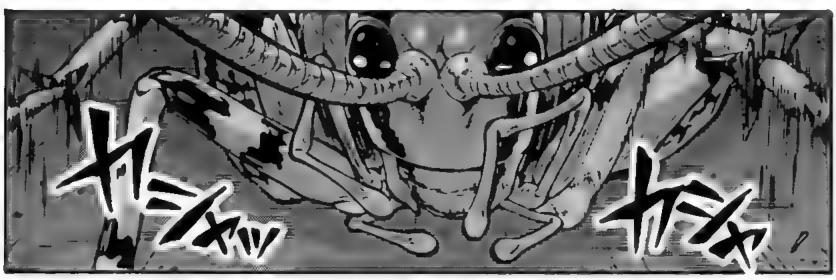




















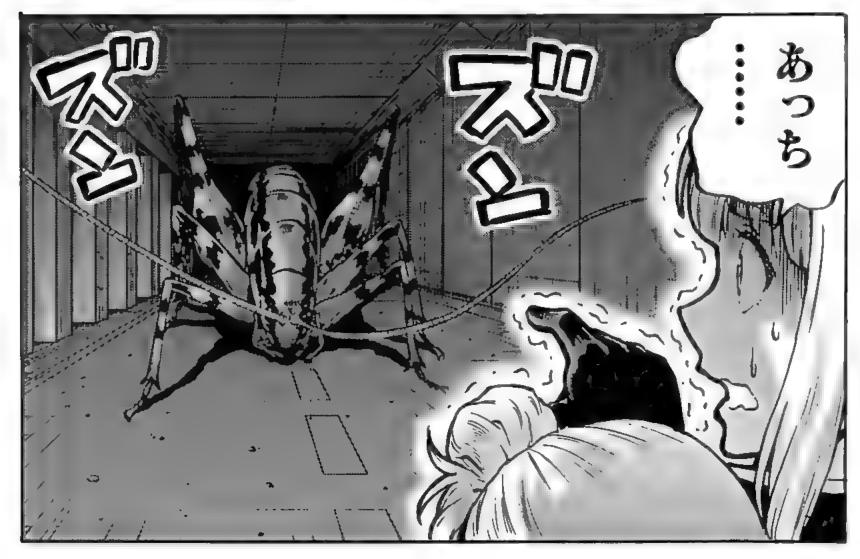










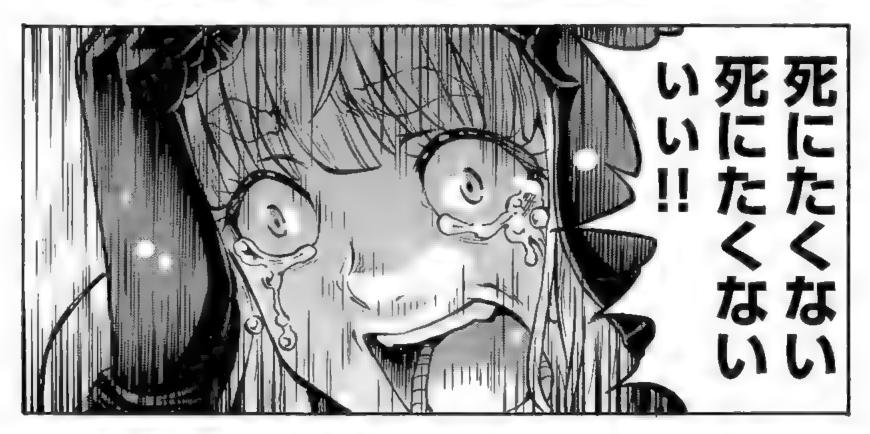


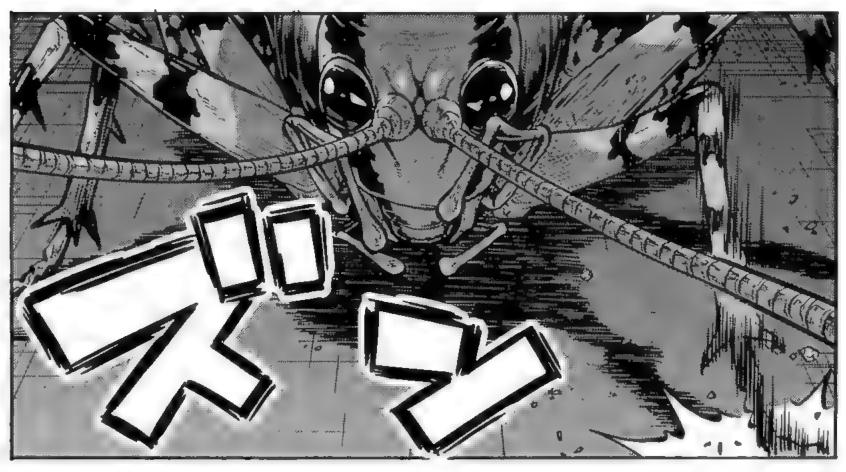


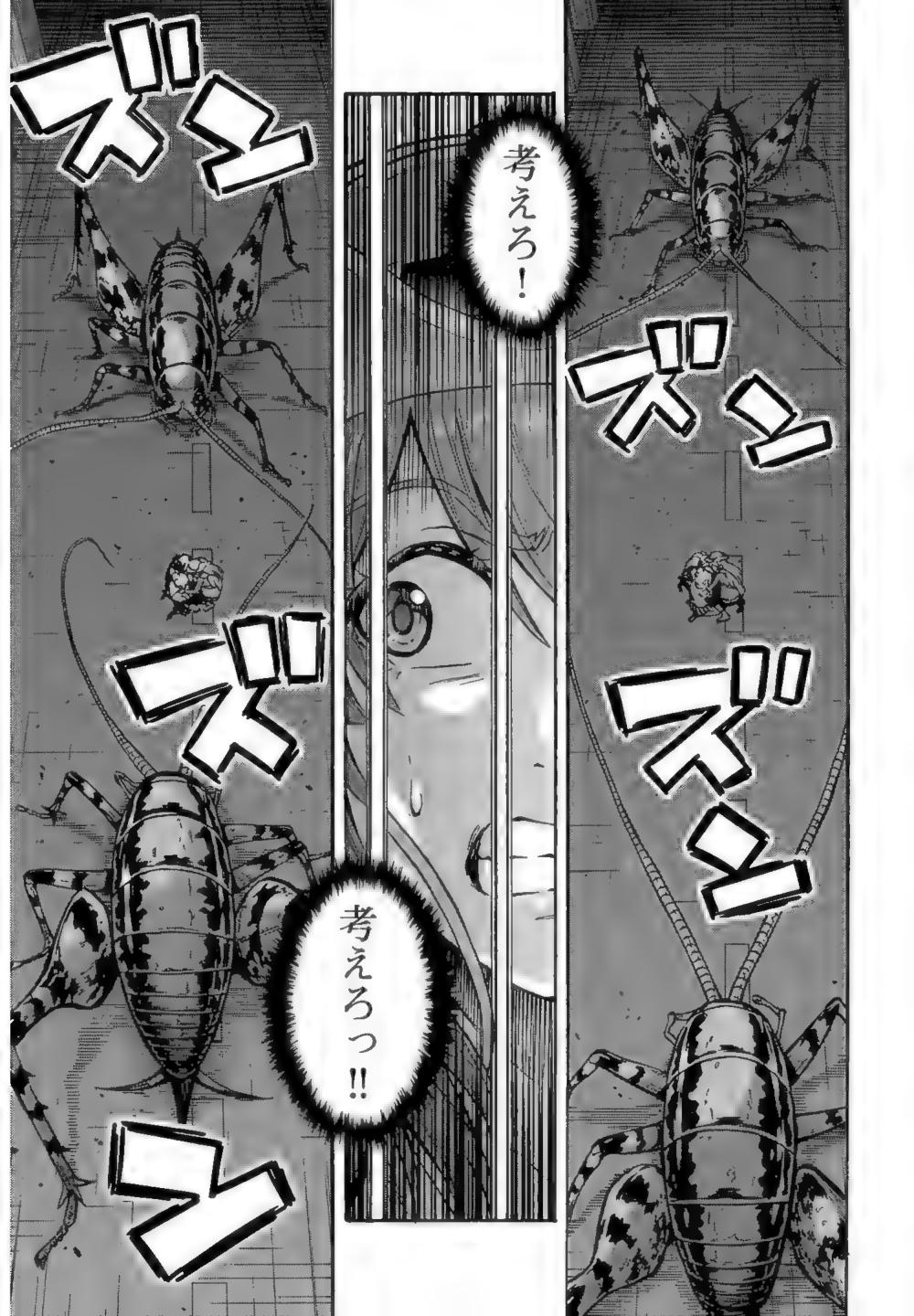






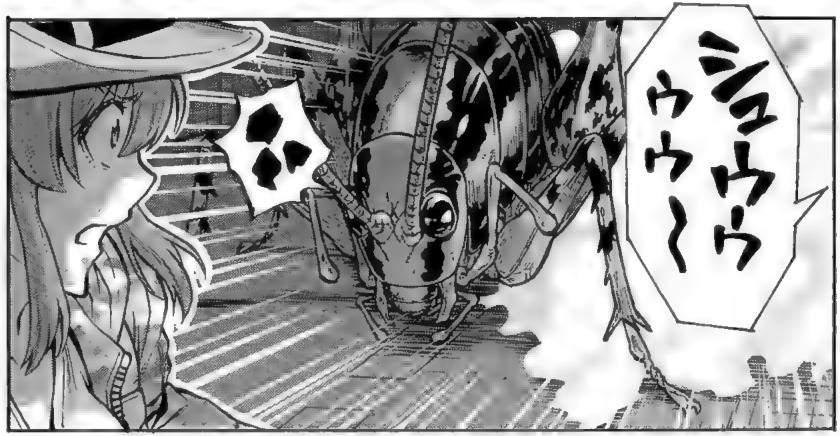




















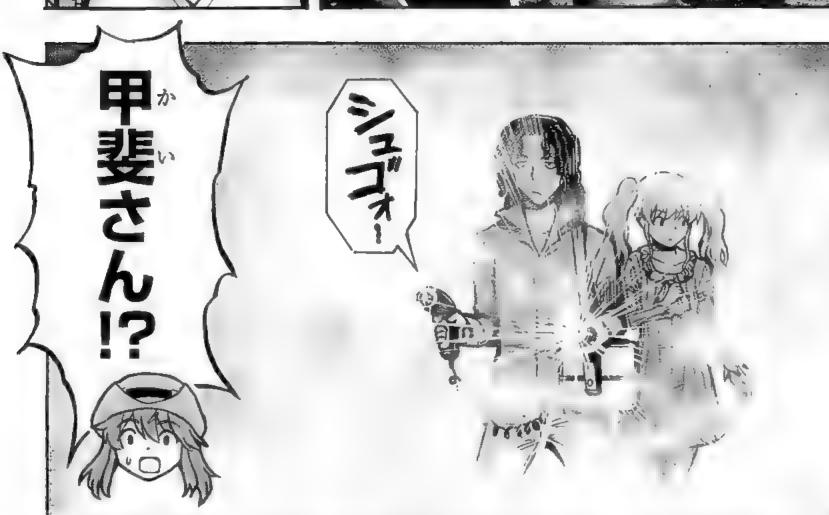


※同種の虫は1匹が逃げ出すと同調して逃げる傾向が強い

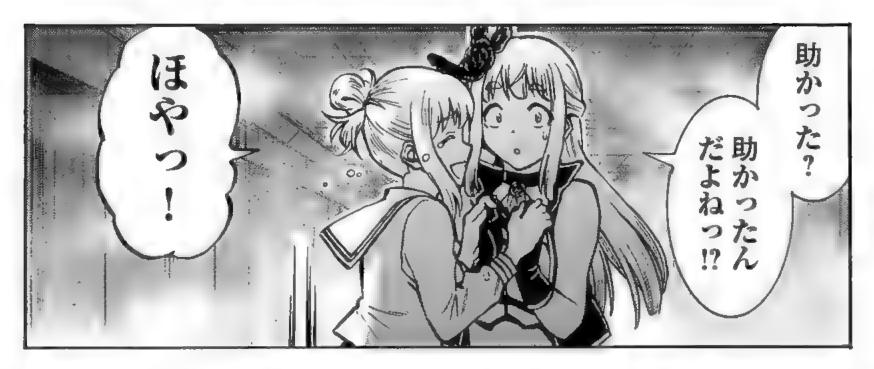














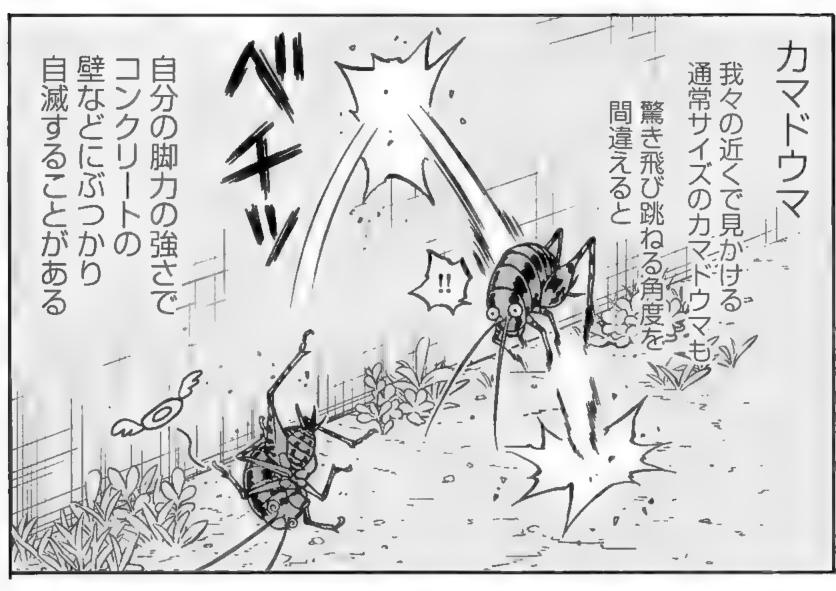














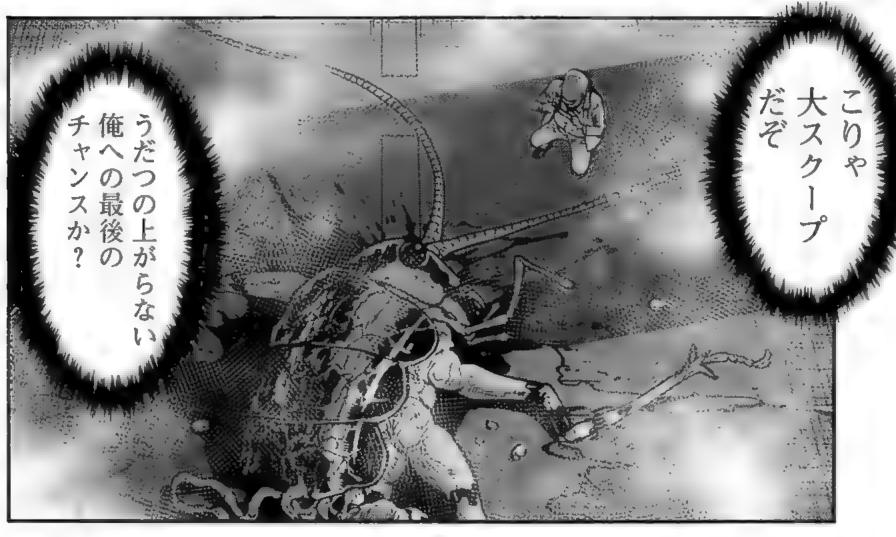










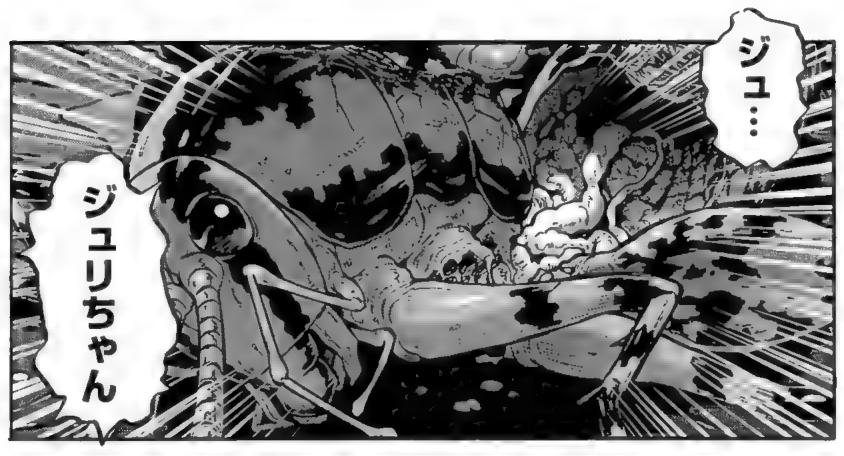
















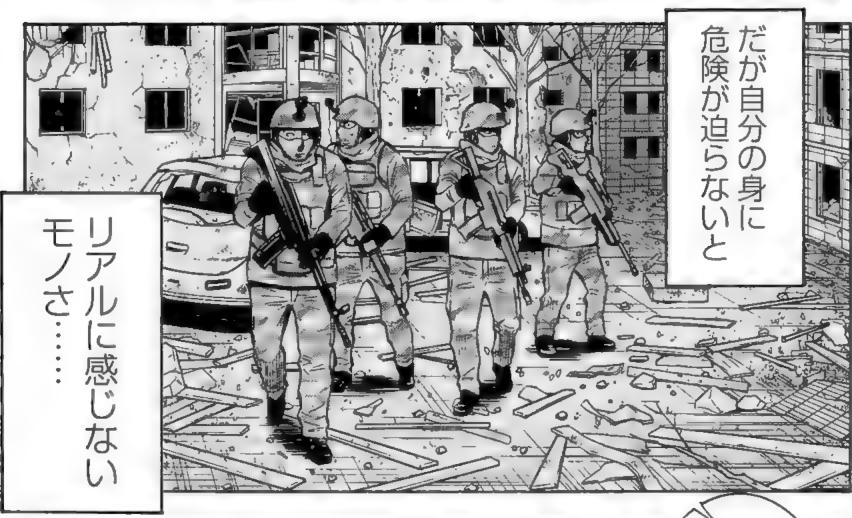


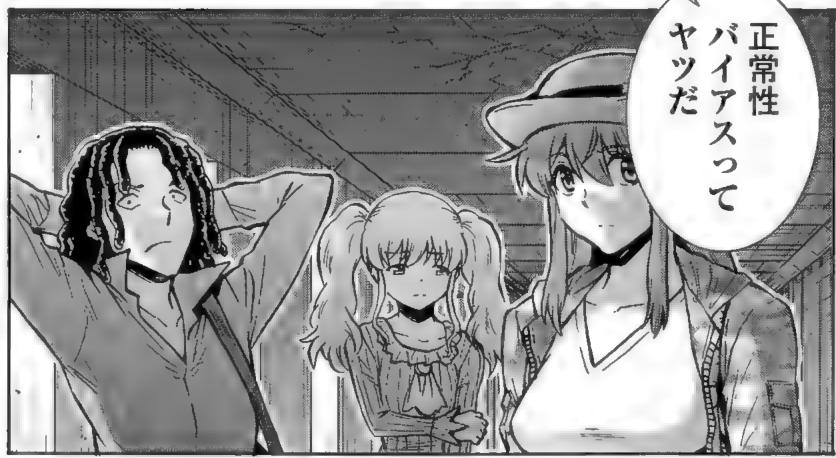




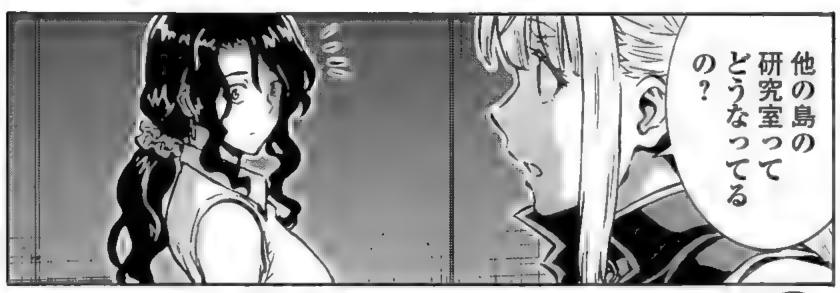


































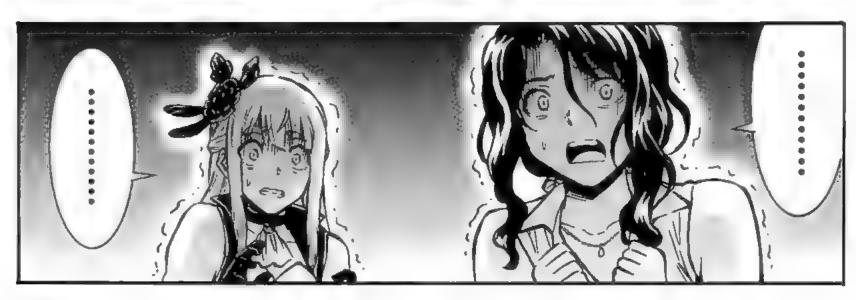










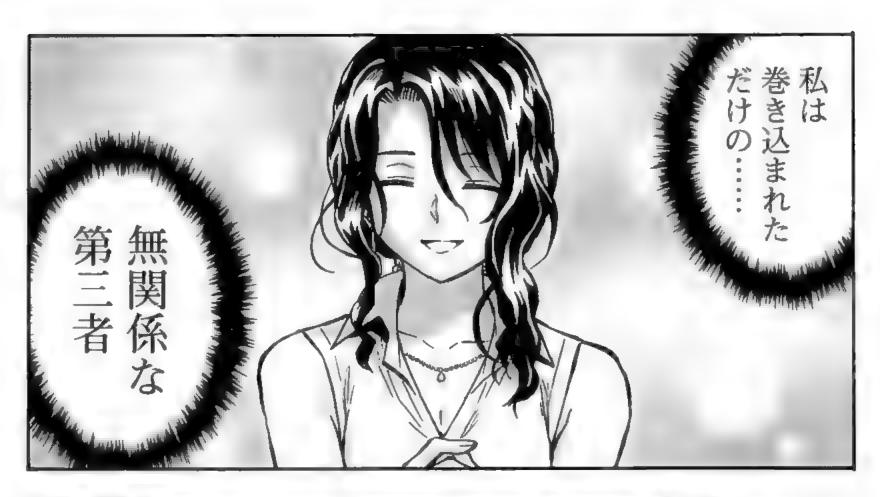




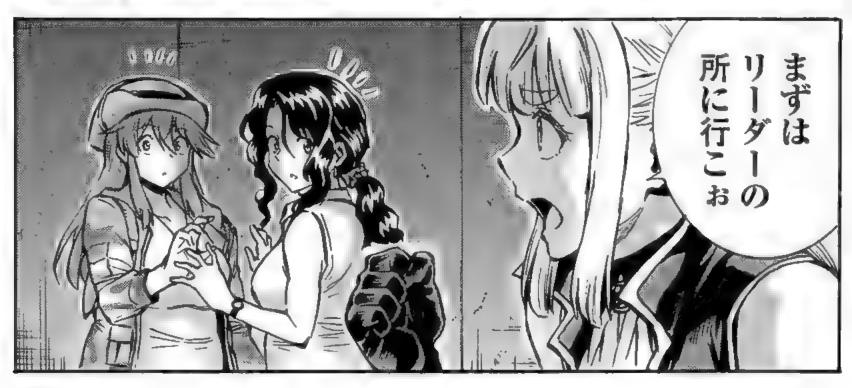


















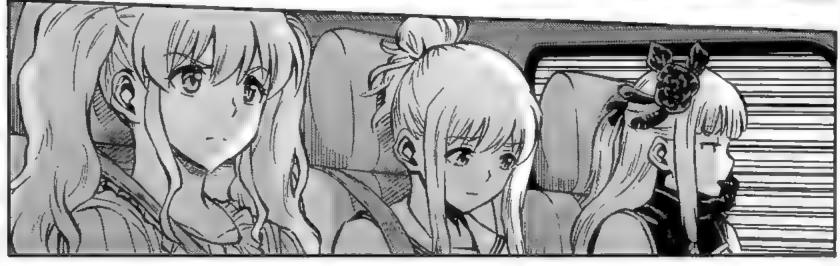
















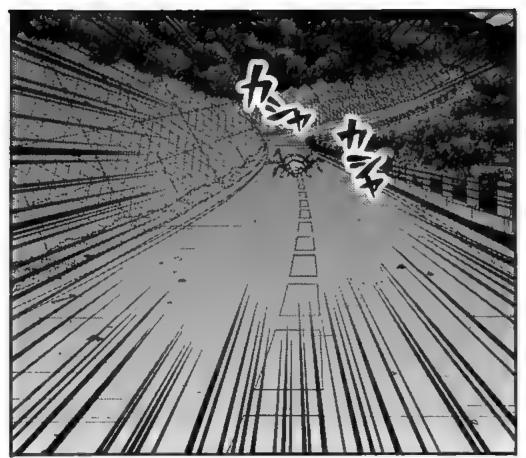








































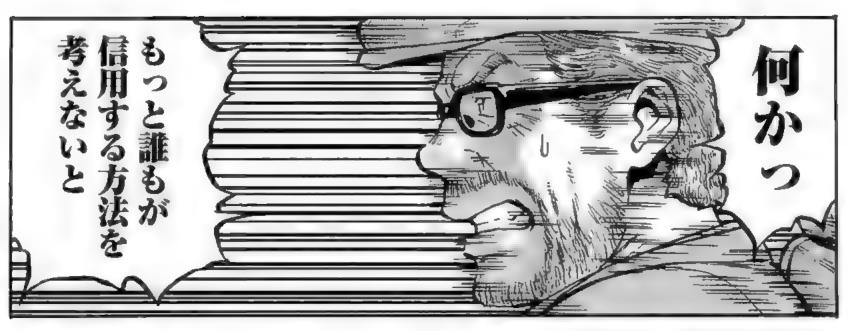






こんな怪獣

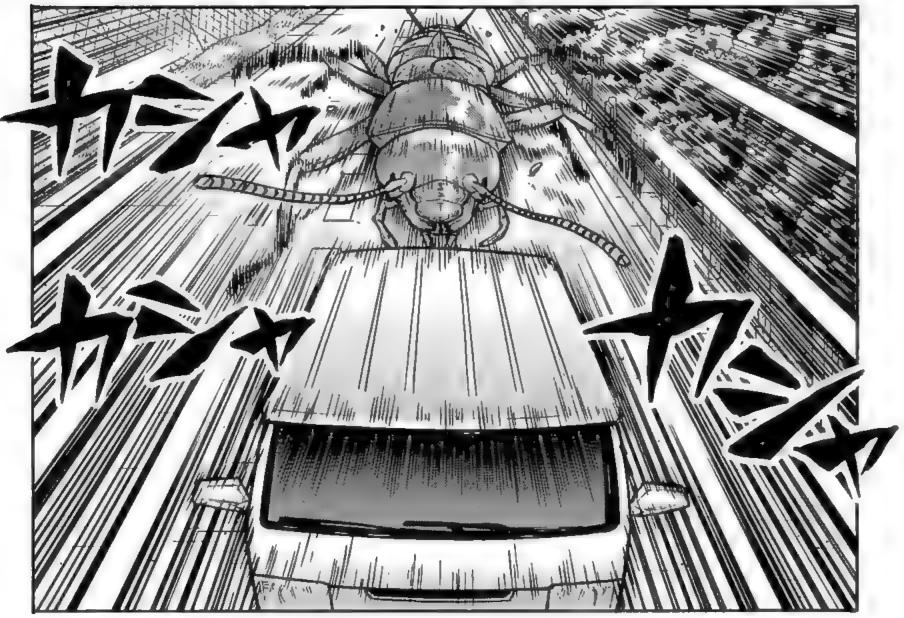


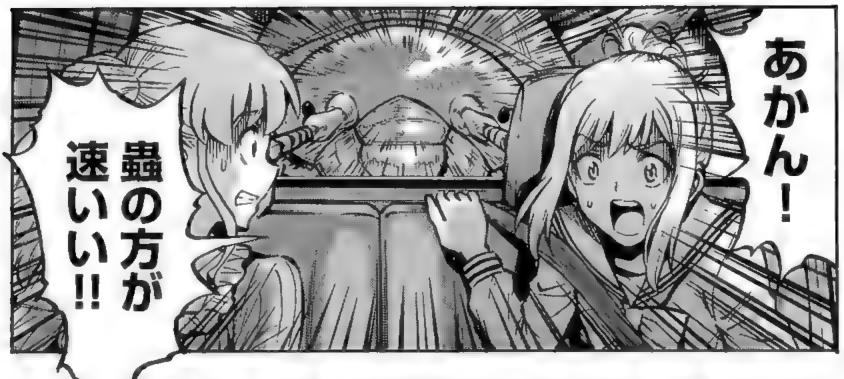








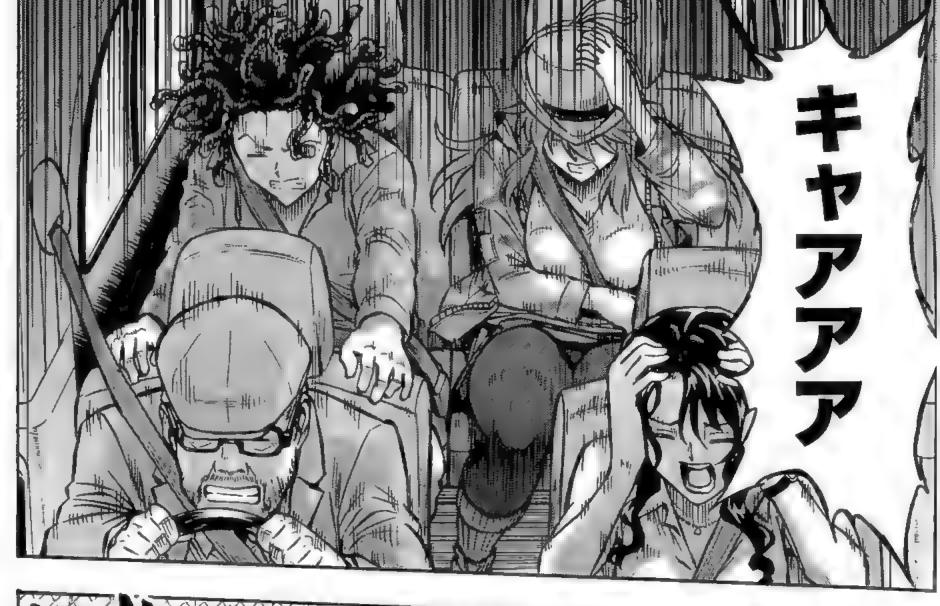




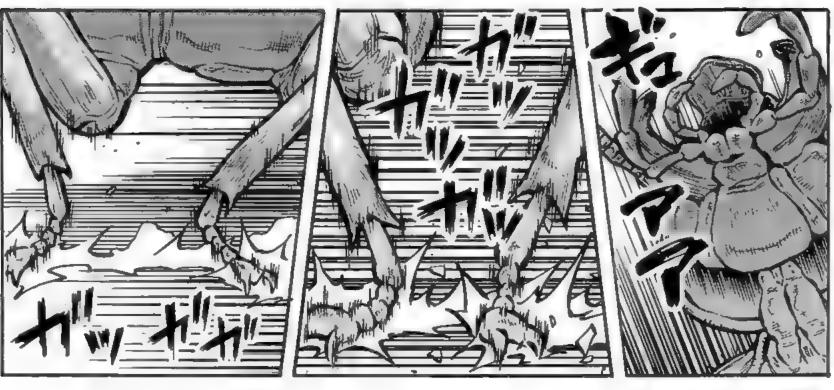


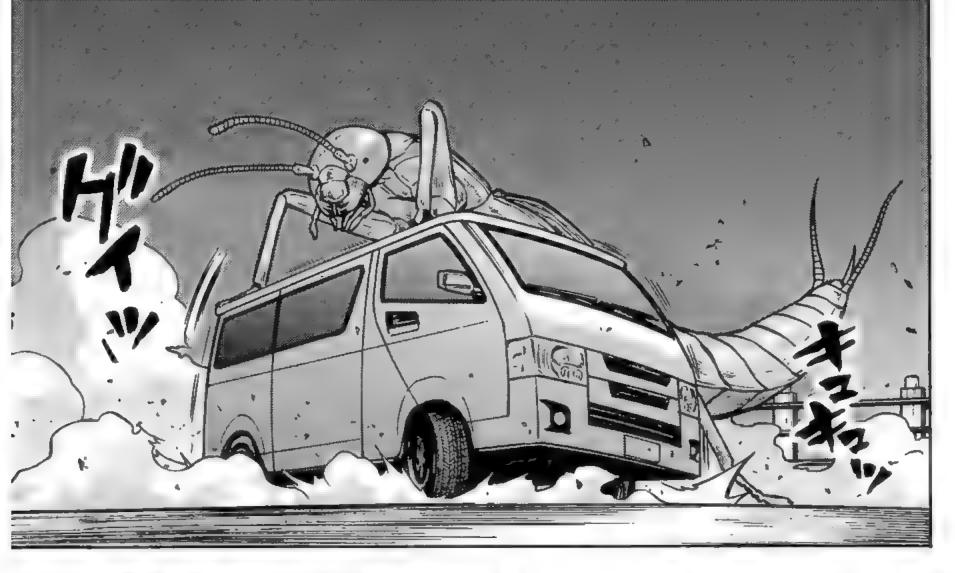
















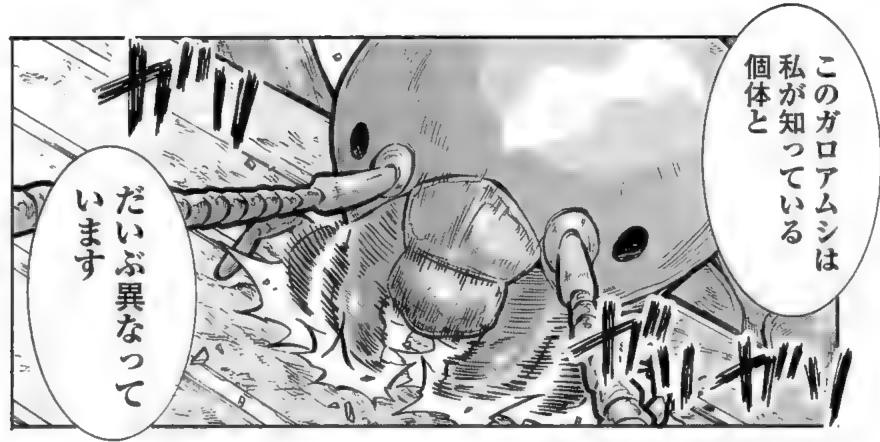


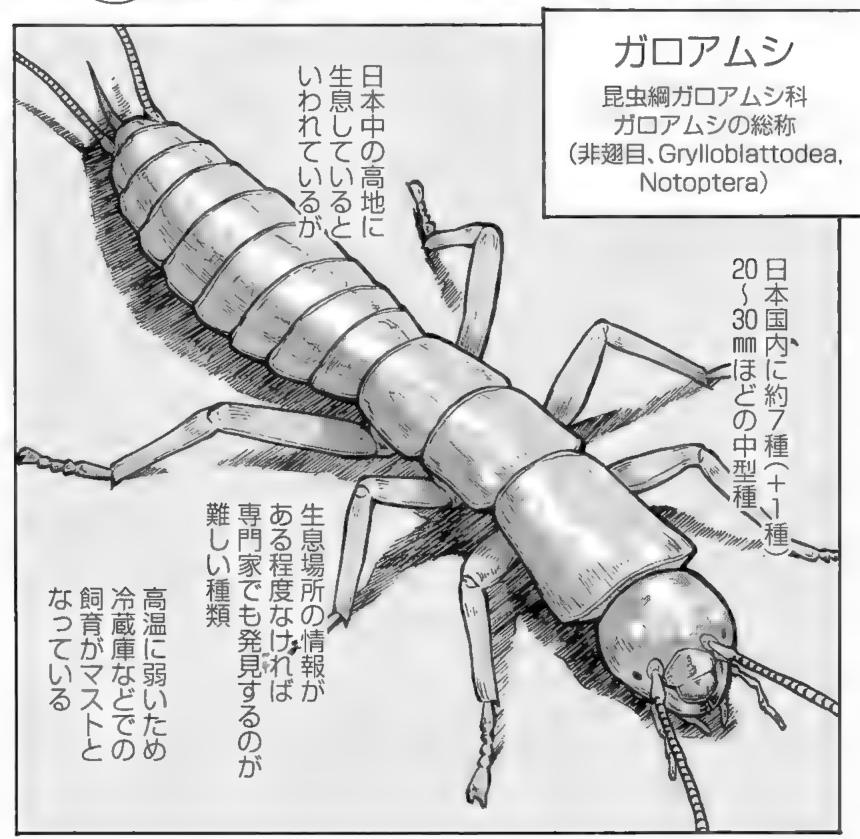












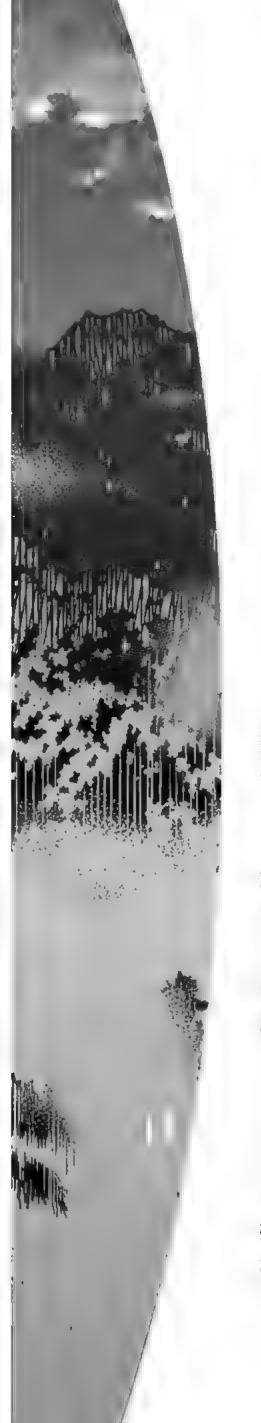








『大巨蟲列島』第⑧巻/完







この度は、『大巨蟲列島』 8巻をお買い上げ下さり、誠にありがとうございますっ!! 原作者の藤見泰高です。

〈大巨蟲列島を楽しく読んで貰うための小話 その8〉

カマドウマ

日本在来種で亜種も含め70種類以上生息していると言われています。現在、調査中の個体や新たに見つかるであろう種類も考えると100種類を超える日も遠くないのかもしれません。もう、これだけの種類がいると何が何だか分からないことが多く、亜種であっても、その仲間は総じてカマドウマと呼ばれることがほとんどです(笑

昔の日本家屋には必ずあった煮炊きのための"かまど"周辺に良く出現し馬のように跳びはねる様から"カマドウマ"という和名が付いたとか、空き家になった家の"かまど"の中に多く潜んでいて見つかると一斉に野生の馬のように走り、跳びはねる様から付いたなど、名前の由来は諸説あるようです。僕のイメージですと昔ながらの"くみ取り式便所"の周りに大量に居たので"便所コオロギ"の方がしっくりきます(笑

食欲は旺盛で動物性・植物性共に何でも食べます。 まれに粘着式ゴキブリ捕獲器の中に入り込んで、動けなくなったゴキブリを捕食していることもあります。その場合、残念なことに自分自身も捕獲器に捕まってしまっていますが……。性格は臆病ですが、小さな種や動きが遅い種に対しては自分から襲いかかって捕食します。

バッタの仲間なのに羽が無いおかしな種

昆虫の定義に羽が4枚あると出てきますが、カマド ウマには羽がありません。ですが元々バッタの仲間ですの で、遙か昔には羽を持っていたと言われています。またカマドウ マの仲間には羽があった痕跡を持った種類も存在しています。

彼らにとって邪魔になった羽を捨て去ることで、狭い暗所にも簡単に潜り込めるようになり、他のバッタとは異なる垂直方向に大きく跳びはねることが出来る脚力までも手に入れたのだと推測できます。ちなみに蝿も羽が2枚しかありませんが、羽の痕跡が2つあり元は4枚羽だったことが分かります。

ガロアムシ

日本中の高地や温度が低い場所にはどこにでもいるらしいのですが、専門家でも発見が難しい超レア種です。僕も何度か観察に行ったのですが一度も見つけたことはありません……(涙

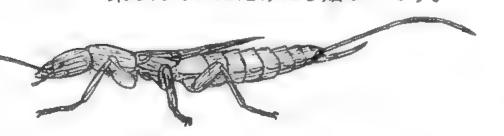
琥珀化石の中にも入っている古代種で多くの種類の昆虫が発生する前の元となった昆虫の1つと考えられています(*作中に出てきた"祖虫"は僕が作った造語です)。シロアリによく似た頭を持ち、ケラやカワゲラともよく似た胸部・腹部を持ち、脚はナナフシの仲間のモノを太く短くしたような形をしています。他にも似た部位を持つ昆虫は多く、"ガロアムシはどの昆虫にも似ているが、どの昆虫にも似ていない"と言われる所以になっています。

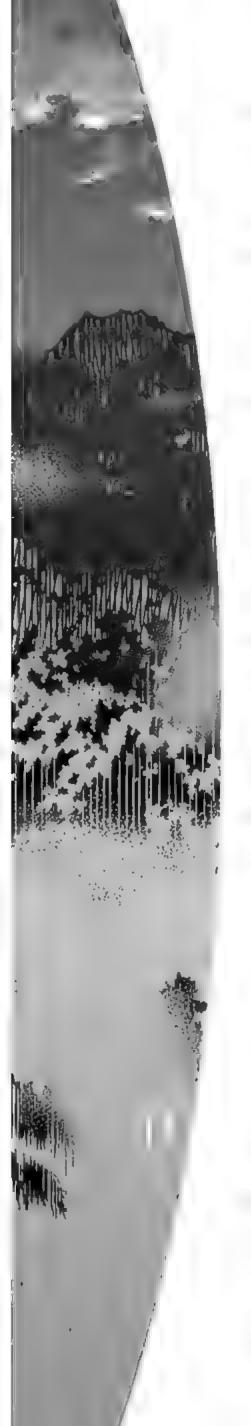
作中のガロアムシは、羽を捨て去る前…もしくは新たに羽を得た姿を想像してデザインしてあります。追加された

羽はケラの羽の折りたたみ方を参考にしました。共

食いもする凶暴性と動きが速いという特徴から出来たのが、作中に出てきたガロアムシ未確認亜種です!

こんなのガロアムシじゃないと言わず、巨蟲の世界観を 楽しんでいただけたら嬉しいです。





蟲達が持つ可能性

ひと昔前は、蟲の研究といったら、ほとんどは、ゴキブリや蚊を代表とする不快虫・害虫の類いでした。なぜなら、昔は蟲達を研究してもお金にならなかったからです。しかし最近では蟲の特性が最先端技術で役に立つと判明し、盛んに研究されるようになりました。

食料としての蟲達

最近、時代が変わったな~と感じることが"昆虫食"です。昔のバラエティ番組では蟲を食べる=罰ゲーム的な存在でした。でも最近は口に入れた最初の一言が「美味しい!」に変わってきました。僕も多くの蟲達を食してきましたが調理方法さえ間違えなければ美味しいモノばかりです(甲殻アレルギーの方や毒虫は食べないでね)! 個人的には素揚げが簡単で美味しく食べられる方法です。

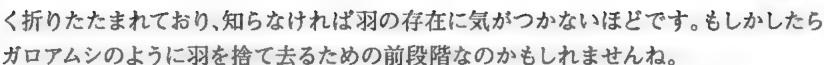
昔から飛翔能力や跳躍能力が高い蟲達の体には、筋肉が詰まっていて美味しいとされてきました。カマドウマも優れた跳躍力を持つ筋肉が詰まった後脚を持っているので、食べた方に聞くと美味いらしいです! 僕は、まだ食べた事がありませんが…チャレンジしてみたいですね。

現在、昆虫食が今後の食料事情を左右するとまで言われ、世界中で研究されています。

科学に応用される蟲達

宇宙開発における太陽光パネルなどは出来るだけ小さく折りたたみ、目的地でより大きく広がることが要求されています。そのために最先端技術として注目されているのは昆虫の羽! 昆虫の羽は小さく複雑に折りたたまれていますが、少しの力で瞬時に大きく広げられ、またキレイに元のサイズへと折りたたむことが出来ます。

中でも注目されているのは"ガロアムシ"の近縁種と考えられている昆虫"ハネカクシ"や"ハサミムシ"なのですっ!! 彼らの羽は、とても小さ



ほんの一部なのですが、最新・蟲達の可能性を紹介させていただきました。

学名について

作品中やあとがきに出てくる昆虫(蟲達)にSPもしくはSSP表記が付いていたり、付いていなかったりしている事があったかと思います。

SPとは?

種"species"の略語で主に新種や似ている蟲はいるのだが、少し違うなどして研究が進んでいない場合に用いられます。

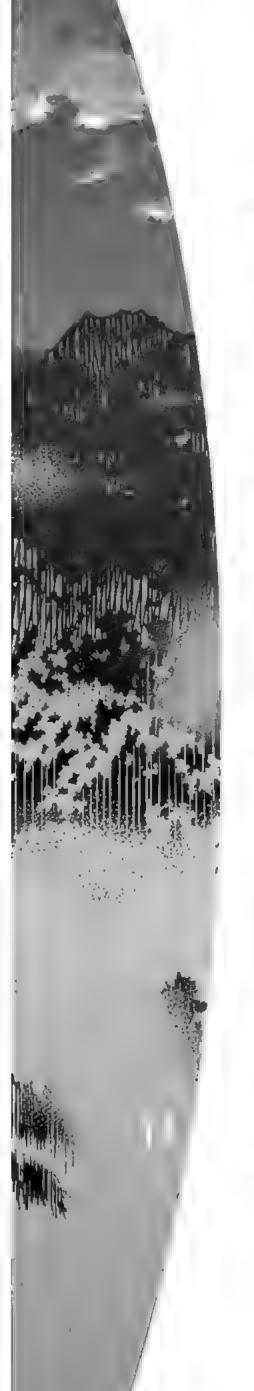
SSPとは?

亜種"subspecies"の略語で研究が進んでいない新亜種に用いられます。

学名は主にラテン語で表記されています。僕が好きな日本産のヒラタクワガタで説明しますと学名がこうなります。"Dorcus titanus pilifer"、細かく言えば最初の"Dorcus"の前にもっと長い学名が付くのですが、今回は図鑑などで明記されている箇所からの説明にさせていただきました。"Dorcus"の意味は日本語で表記しますと"オオクワガタ属"になります。次の"titanus"の意味は"ヒラタクワガタ種"になります。最後の"pilifer"のカタカナ表記は"ピリフェル"で日本の本州を中心に活動している日本産のヒラタクワガタを指す名前です。piliferはラテン語で発音が難しいため、ピリフェル以外の片仮名呼びで表記されていることもあり

ます。「大巨蟲列島」にヒラタクワガタが巨蟲化して登場したと想定しますと、学名は"Dorcus titanus pilifer ssp."となります。

作中に出てくるラテン語の学名表記は、陸美が知る一番近い種類のものであり、片仮名表記で書かれている和名とは必ずしも対応していない場合があります。あくまで作中に出てきている巨蟲



に一番近い姿をしているモノという基準で表記しています。

作品中に未確認亜種と書かれている場合で学名の最後に"ssp."が書かれていないのは僕のミスです…。書いてあると思って読んでいただけると嬉しいです。未確認亜種と書かれていない場合は、現状存在している昆虫(蟲達)の説明となっております。

今回、「大巨蟲列島」 8巻でガロアムシが出てきたことにより、睦美は、 また巨蟲の秘密に一歩近づけました。今まで出てきた巨蟲達の…巨蟲化 出来た蟲達と出来なかった蟲達の違いや秘密に近づいてきました!!

この巻の32話にてスピンオフの『巨蟲山脈』と話が繋がりました! 願わくは両方読んでいただけると更に巨蟲の秘密が分かると思います。これからも「大巨蟲列島』、スピンオフの『巨蟲山脈』をよろしくお願いします!

最後に作画をして下さる廣瀬周先生っ! カッコイイ巨蟲や綺麗で可愛いキャラ達を描いて下さるのは元より毎回、変なアングルからの巨蟲や分かりにくい構図をしっかり綺麗に分かりやすく描ききって下さり、ありがとうございますっ!!

いつも遅くまで僕に付き合って下さる担当さん! ありがとうございます!!

これからも読んで下さる皆様に面白いと思っていただける作品作りを心がけていきますので、よろしくお願いいたします!!

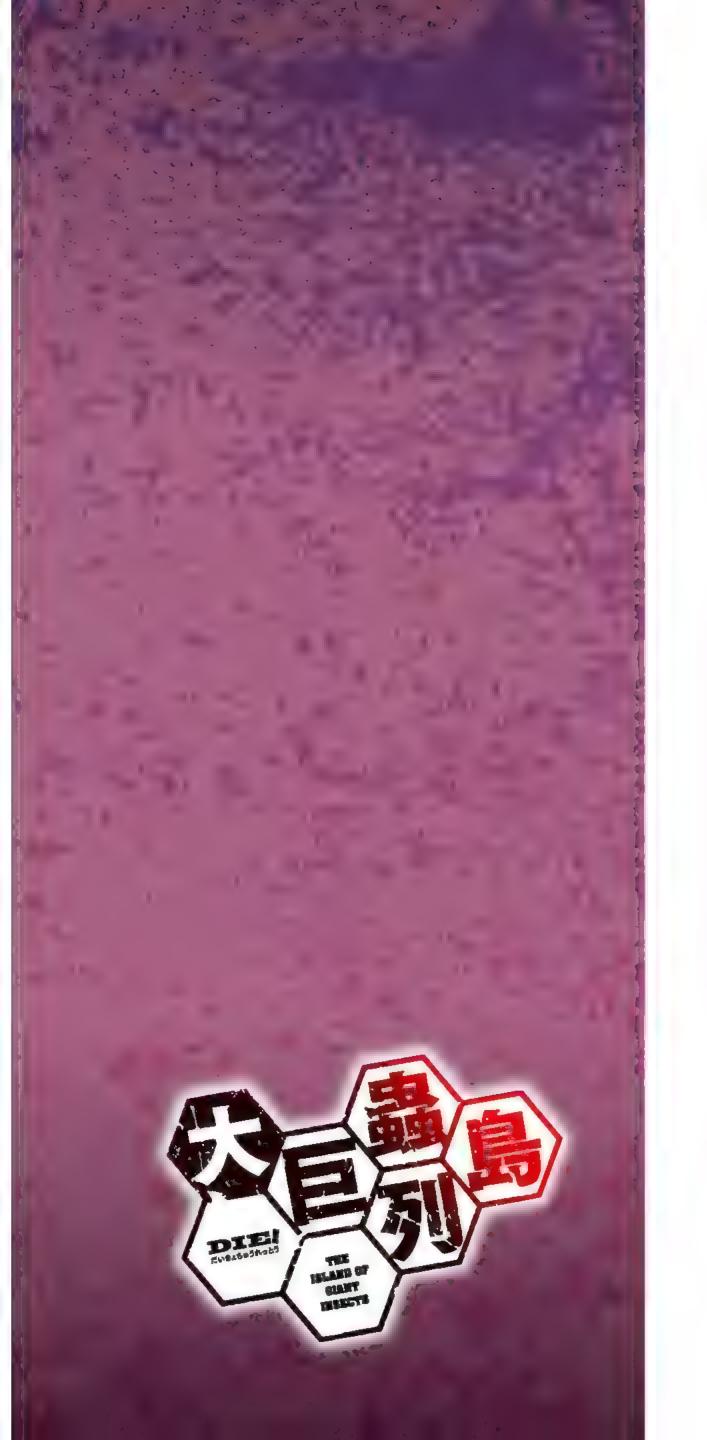
協 力 加藤愛奈 森のプロレス 陶史の森ネイチャーセンターの先生方

参考文献

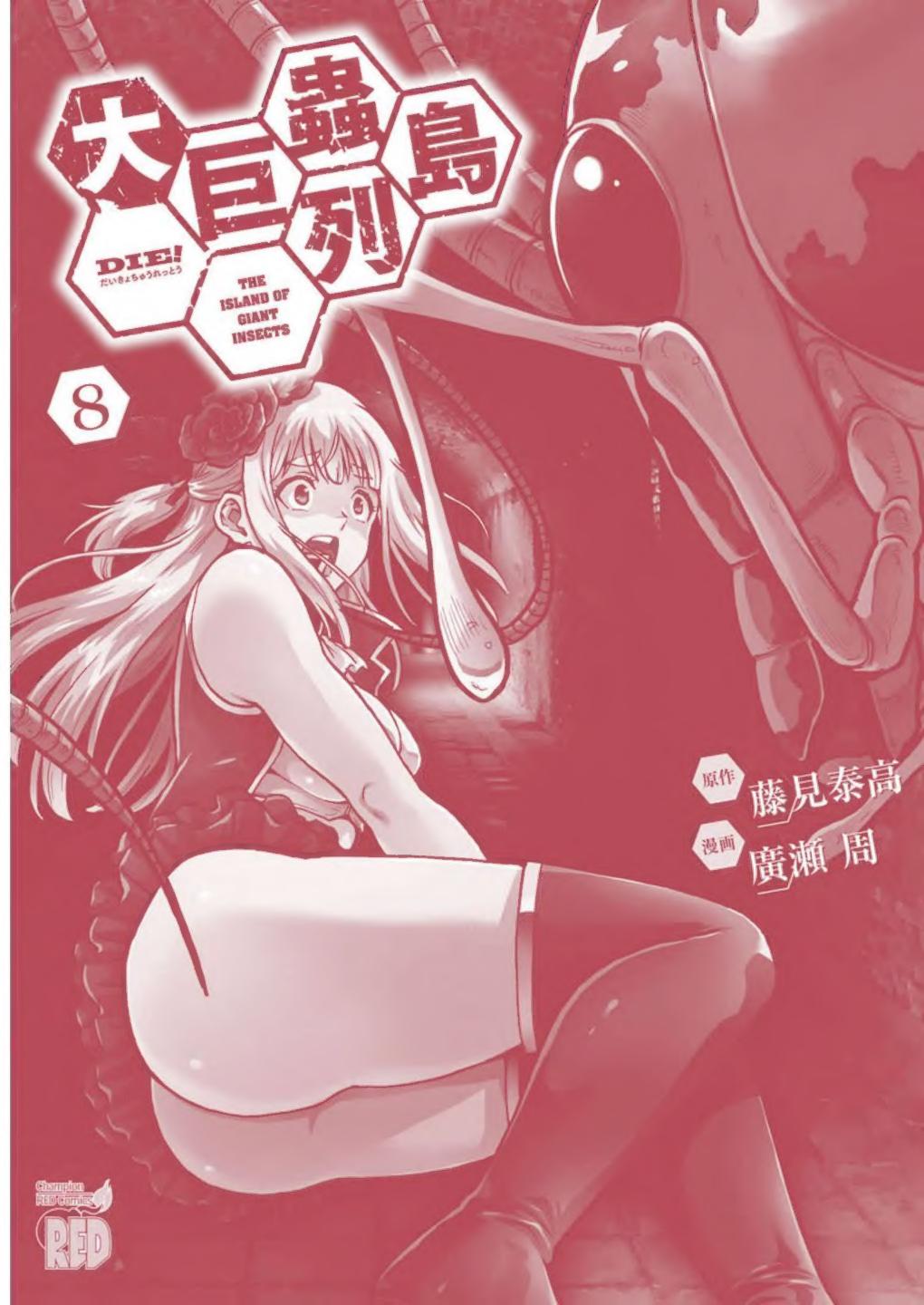
「虫たちの生き残り戦略」 安富和男(著) 中公新書『教養のための昆虫学』 平嶋義宏・広渡俊哉(編著) 東海大学出版部 『蟲愛づる人の蟲がたり』筑波大学山岳科学センター 菅平高原実験所(編)・町田龍一郎(監修) 筑波大学出版会

大巨蟲列島第8巻













大巨蟲列島图

2022年8月25日 初版発行

著 者

藤見泰高・原作

である せ しゅう 唐 瀬 周・漫画

©Yasutaka Fujimi/Shu Hirose 2022

発行者

石井健太朗

発行所

株式会社秋田書店

〒102-8101 東京都千代田区飯田橋2-10-8 ☎編集(03)3265-1326 販売(03)3264-7248 製作(03)3265-7373 振替口座 00130-0-99353

印刷所

大日本印刷株式会社

Printed in Japan

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

(禁/無断転載・放送・上映・上演・複写・公衆送信・Web上での画像掲載)

ISBN978-4-253-23798-7

デジタル版 2022年発行 製作所 デジタルカタパルト株式会社 http://www.digital-catapult.com